



令和6年4月1日  
北海道開発局

## 令和6年度北海道開発局関係予算について

令和6年度北海道開発局関係予算について、別紙のとおりお知らせします。

【問合せ先】 別紙のとおり

令和6年4月1日

令和6年度北海道開発局関係予算 プレス投げ込み問合せ先

電話（代表）011-709-2311

全体	開発監理部	開発計画課	課長補佐	佐々木 伸行	(内線5463)
			上席専門官	横井 大介	(内線5465)
			開発企画官 (事業概要)	瀬能 博之	(内線5462)
治水・海岸・都市水 環境関係	建設部	河川計画課	河川計画調査官	川岸 智樹	(内線5294)
			河川計画管理官	宝住 誓司	(内線5295)
		河川管理課	河川情報管理官	名久井 孝史	(内線5322)
			低潮線保全官	熊谷 彰浩	(内線5323)
		河川工事課	河川技術対策官	三浦 剛志	(内線5313)
		地方整備課	地域事業管理官	長田 直樹	(内線5672)
道路関係	建設部	道路計画課	課長補佐	石井 智章	(内線5355)
			課長補佐	小林 将	(内線5356)
		道路維持課	課長補佐 (維持修繕担当)	横山 朋紀	(内線5383)
			特定道路事業対策官 (交通安全担当)	大江 祐一	(内線5820)
			課長補佐 (電線共同溝担当)	岡山 重雄	(内線5821)
		地方整備課	地域事業管理官	長田 直樹	(内線5672)
港湾・海岸関係	港湾空港部	港湾計画課	港湾計画管理官	谷 拓歩	(内線5614)
空港関係	港湾空港部	空港・防災課	課長補佐	松本 隆一	(内線5632)
住宅・市街地・公園関 係	事業振興部	都市住宅課	都市事業管理官	笠松 周悟	(内線5874)
			まちづくり事業推進官	竹本 秀子	(内線5866)
上下水道関係	建設部	地方整備課	上下水道調整官	村椿 俊幸	(内線5851)
農業・海岸関係	農業水産部	農業計画課	事業計画推進官	高井 直人	(内線5513)
水産・海岸関係	農業水産部	水産課	課長補佐	木口 輝	(内線5593)
社会資本総合整備関係	建設部	地方整備課	地域事業管理官	長田 直樹	(内線5672)
	港湾空港部	港湾計画課	港湾計画管理官	谷 拓歩	(内線5614)
	事業振興部	都市住宅課	都市事業管理官	笠松 周悟	(内線5874)
			まちづくり事業推進官	竹本 秀子	(内線5866)
営繕関係	営繕部	営繕計画課	課長補佐	藤村 康宏	(内線5723)
その他（地籍関係）	開発監理部	用地課	課長補佐	藤野 訓	(内線5534)

## 令和6年度 北海道開発局関係予算について

令和6年度北海道開発局関係予算は、第9期北海道総合開発計画（令和6年3月12日閣議決定）の初年度に当たり、

- 1 生産空間の維持・発展による食料安全保障及び観光立国の一層の強化
- 2 我が国のエネルギー供給基地も担うゼロカーボン北海道等の実現
- 3 デジタル関連産業の集積支援
- 4 安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

を軸とし、令和5年度補正予算と合わせて切れ目なく取組を進めます。

### ○令和6年度北海道開発局関係予算

		うち一括配分
直轄事業	3,646億円	(1,237億円)
補助事業	3,065億円	(171億円)
計	6,711億円	(1,409億円)

このほか、①公共工事の実施の時期の平準化等を図るため、②防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に基づく事業等について計画的かつ円滑な事業執行を図るため、以下のとおりゼロ国債を設定しています。

### ①平準化等

		うち一括配分
直轄事業	345億円	(216億円)
補助事業	30億円	( )

### ②事業加速円滑化

		うち一括配分
直轄事業	2億円	(2億円)

## 令和6年度 北海道開発局関係予算総括表（事業費）

【直 轄】

（単位：百万円）

事 項	予 算 額		備 考
		一括配分額	
治 水	74,632	23,942	
海 岸	479	0	
道 路	190,719	95,635	
港 湾 整 備	14,904	3,188	
空 港 整 備	3,453	0	
都 市 水 環 境 整 備	799	797	
国 営 公 園 等	1,021	0	
農 業 農 村 整 備	60,072	0	
水 産 基 盤 整 備	14,648	0	
官 庁 営 繕	3,871	154	
合 計	364,598	123,716	

- 注 1. 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。  
 2. 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

令和6年度 北海道開発局関係予算総括表（事業費）

【 補 助 】

（単位：百万円）

事 項	予 算 額	一括配分額	備 考
治 水	17,672	0	
海 岸	1,058	0	
道 路	44,989	2,300	
港 湾 整 備	692	207	
住 宅 对 策	7,719	7,719	
市 街 地 整 備	7,835	0	
上 下 水 道	56	10	
水 道	6,902	6,901	
下 水 道	2,900	0	
国 营 公 園 等	1,010	0	
農 業 農 村 整 備	37,128	0	
水 産 基 盤 整 備	15,798	0	
社会資本総合整備	162,547	0	
社会資本整備総合交付金	64,289	0	
防災・安全交付金	98,258	0	
社会資本整備 円滑化地籍整備	156	0	
合 計	306,463	17,137	

注 四捨五入の関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

令和6年度

北海道開発局事業概要  
(事業別)

令和6年4月

国土交通省北海道開発局

# < 目 次 >

1. 治水関係事業	・ ・ ・ P 1
2. 道路事業	・ ・ ・ P 2 0
3. 港湾整備事業	・ ・ ・ P 4 6
4. 空港整備事業	・ ・ ・ P 5 1
5. 農業農村整備事業	・ ・ ・ P 5 4
6. 水産基盤整備事業	・ ・ ・ P 5 8
7. 官庁営繕事業	・ ・ ・ P 6 0
(参考) アイヌ文化の振興	・ ・ ・ P 6 1
(参考) 北海道開発計画調査	・ ・ ・ P 6 2
(参考) 令和6年度 道路の主な開通予定	・ ・ ・ P 6 3

## 1. 治水関係事業

### 強靱で持続可能な国土の形成

【恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成、激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成】

#### 1 恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成

##### (1) 河川環境の保全・再生の推進

北海道の恵まれた自然環境の保全・再生を図るため、地域住民、NPO、学識経験者、関係機関等が連携・協働し、各種施策を推進します。

近年、ネイチャーポジティブやグリーンインフラが世界の潮流になっていることも踏まえ、河川を基軸とした生態系ネットワークの形成に向けて、石狩川流域、十勝川流域において自然再生事業を推進します。また、流域の発展に伴い湿原面積が著しく減少している釧路湿原において幌呂地区の湿原再生及びヌマオロ地区の旧川復元を引き続き推進するほか、天塩川下流地区において汽水環境の再生、天塩川中上流地区において魚類等生息環境の改善を引き続き推進します。



釧路湿原自然再生  
(ヌマオロ地区旧川復元)

##### (2) まちづくりと一体となった魅力ある水辺空間の創出

まちづくりと連携した水辺整備を行うことで、水辺とまちの活性化に向けたかわまちづくりを全道9地区において引き続き推進するとともに、MIZBEステーションや道の駅「南ふらの」と空知川が一体となった水辺空間の活用等を図る「南富良野町かわまちづくり」や地域観光のゲートウェイであるJR旭川駅南側地区と忠別川・牛朱別川が一体となった水辺整備により観光・まちづくりによる賑わい創出を図る「旭川駅周辺かわまちづくり」を新たに推進します。



まちづくりと連携した水辺整備  
(江別市かわまちづくりイメージ図)

##### (3) 「かわたびほっかいどう」プロジェクトの推進

川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を効果的に発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい活力ある地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進します。



水辺で千歳の“みらい”を語ろう  
-RIVER CITY PROJECT CHITOSEみらいEXPO-

#### (4) 河川協力団体について

河川の維持、河川環境の保全等、河川管理に資する活動を自発的に行っているNPOや町内会などの民間団体を河川協力団体として指定し、河川管理者と連携して活動する団体として位置づけ、自発的な活動を支援しています。

#### (5) 海岸協力団体について

海岸の維持、海岸環境の保全等、海岸管理に資する活動を自発的に行っているNPOや町内会などの民間団体を海岸協力団体として指定し、海岸管理者と連携して活動する団体として位置づけ、自発的な活動を支援しています。

#### (6) 公共事業の実施に伴う発生土砂等の有効活用

河川事業で発生する土砂については、堤防等の河川整備に流用するほか、農地の土壌改良材や盤上げ材として有効活用し、北海道の基盤産業の一つである農業の生産性向上を図ります。



農地の土壌改良材への流用例

### (7) 河川におけるカーボンニュートラルの取組

河道内の樹木は洪水流下の阻害となることがあるため、計画的に伐採を進めています。伐採された樹木については、民間企業と連携・協力して、チップ状に碎いてバイオマス発電への利用や、加工して家畜の餌にするなどの利用が始まっています。樹木管理費用の縮減と循環資源の利用システムの構築・活用を推進します。

ダム貯水池で集積した流木については、一般の方への無料配布や、チップ化による園路整備等、資源の有効利用に取り組みます。

堤防除草により毎年発生する刈草は、地域で家畜の敷藁に使用するなどの利活用を進めるとともに、バイオガス資源として提供し、除草費用の縮減と循環型の地域づくりを推進します。また、新たに民間企業などと連携・協力して、北海道の緩傾斜堤防を利用する公募除草の取組も進めます。



河川内の樹木は、民間での木質バイオマスエネルギー等に利活用



ダム貯水池で集積した流木は、無料配布を実施、また、チップ化し園路整備やバイオマス燃料として利活用



堤防の刈草は、家畜の敷藁やバイオガス資源として利活用

## 2 激甚化・頻発化する水災害等への防災対策の推進

### (1) 流域のあらゆる関係者が協働して行う「流域治水」の推進

気候変動の影響による災害の頻発化・激甚化に対応するため、抜本的な対策として、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、ハード・ソフトの両面から「流域治水」を推進するため「北海道開発局流域治水推進室」を設置しています。さらに、「北海道地方における流域治水のあり方検討会」を設置し、流域のあらゆる関係者が主体となって取組を進められるよう検討を行い、とりまとめ結果を得ました。これに基づき、流域治水を取組むにあたっての課題を解決し、取組を推進します。



あらゆる関係者が協働して行う「流域治水」

### (2) 北村遊水地整備事業の推進

石狩川流域には道都札幌市等が位置し、北海道の社会、経済の中核となっているほか、流域内の広大な農地は我が国数々の食料供給地です。特に昭和56年8月洪水時には甚大な浸水被害が発生しました。この戦後最大規模の洪水から石狩川流域を防御するため、北村遊水地等の整備を推進します。



北村遊水地の整備

### (3) 千歳川流域の治水対策の推進

千歳川流域の治水対策は、発展の著しい道央圏の防災対策として緊急を要する重要な課題であり、平成17年4月に策定された千歳川河川整備計画に基づき、石狩川の高い水位の影響を長時間受けることに対応した堤防の整備や河道掘削及び遊水地群の整備等を推進しており、遊水地群については、令和2年度よりすべての遊水地で供用を開始しています。また河川整備に加え、流域治水を本格的に実践するため、令和5年度に千歳川流域を特定都市河川に指定したことから、地域が一体となった流域対策を一層推進し、早期に水害への安全性の向上を図ります。



千歳川の堤防整備

#### (4) 大都市地域で壊滅的な被害を防止するための治水対策の推進

札幌市は北海道の社会、経済の中核となっており、その中心部を貫流する豊平川などが氾濫すると市街地に甚大な被害が発生するおそれがあります。このため、豊平川及び厚別川において、河床低下対策や水位を低減させる河道掘削などの治水対策を推進します。



豊平川の河川改修

#### (5) 空知川南富良野幾寅地区地域連携防災事業の推進

平成28年8月洪水により激甚な災害が発生した南富良野幾寅地区において、再度災害防止対策の整備や地域防災力の向上を目的に、地域と連携した地域連携防災事業を推進します。この事業の一環として水防活動や災害復旧の拠点の機能のほか、地域活性化や賑わいの創出に資する機能を併せ持つMIZBEステーションの整備を、北海道開発局と南富良野町が連携して推進します。



石狩川水系空知川の堤防決壊状況（平成28年8月）

#### (6) 網走川大空地区河川防災ステーション整備の推進

網走川流域の防災事業において、災害が発生した場合の緊急復旧などを迅速に行うため、緊急用資材の備蓄や市町村が行う水防活動を支援する拠点となる河川防災ステーションの整備を推進します。平常時には、環境教育、防災教育等の文化活動の拠点として活用するとともに地域コミュニティの拠点として活用される施設です。



河川防災ステーション（完成イメージ）

### (7) 幾春別川総合開発事業の推進

石狩川流域における洪水被害軽減及び流水の正常な機能の維持、水道用水、工業用水、発電を目的とした幾春別川総合開発事業の早期完成に向けて、事業を推進します。

新桂沢ダムにおいては令和5年度に完成し、三笠ぽんべつダムにおいては、令和4年度より本体工事を行っています。



新桂沢ダム（令和5年12月試験湛水時）

### (8) ダム再生の推進

近年頻発する水害に対し、治水安全度の早期向上を図る事を目的に、既存ダムを有効活用するダム再生を推進します。

雨竜川ダム再生事業は、既存の雨竜第1ダム及び雨竜第2ダムにおいて、利水容量の洪水調節容量への振替や、雨竜第2ダムの嵩上げにより、新たに洪水調節容量を確保するもので、令和5年度より建設段階に移行しています。

糠平ダム再生事業は、音更川を含む十勝川流域において、洪水災害から地域社会を守るため、既設ダムを運用しながら最大限に活用する「ダム再生」として、令和6年度より治水機能増強検討調査に着手します。



雨竜第2ダム



糠平ダム

### (9) 火山噴火等に備えた土砂災害対策の推進

噴火による大規模な災害が発生するおそれのある樽前山・十勝岳において、火山砂防事業を重点的に推進します。

上流域の土地荒廃が著しく、流出する土砂や流木が下流域に被害を及ぼすおそれのある石狩川上流域・豊平川・札内川において砂防事業を推進します。



樽前山覚生川砂防堰堤群の整備

### (10) 海岸侵食対策の推進

北海道の物流の要である苫小牧港、重要交通網である国道36号、JR室蘭本線が隣接するとともに、それらに面して住宅が密集している胆振海岸において、海岸侵食対策として人工リーフ整備を推進します。



胆振海岸（白老工区）人工リーフ

### (11) 河川管理施設の戦略的な維持管理・更新の推進

河川の維持管理では、一級河川13水系の大臣管理区間における、ダム、堤防、水門・樋門、排水ポンプ等の河川管理施設を良好な状態に保つように維持し、確実な操作を実施するとともに、所要の機能を確保するため、点検・評価結果に基づく補修・更新等を実施します。

また、施設の老朽化の進行や北海道特有の凍害劣化に対応し、トータルコストの縮減や平準化を図るため、長寿命化計画等に基づく予防保全を実施するなど、戦略的な維持管理・更新を推進します。



施設の点検（水門ゲート設備）



施設の点検（放流設備）



施設の補修に合わせた  
自動開閉式ゲートの導入事例

### (12) AI/Eye River (アイ・リバー：河川管理の高度化・効率化に向けた取組)

将来の担い手不足やインフラ老朽化の進展等に対応するため、河川管理分野における生産性向上を目的に、デジタル技術を活用した河川管理等の高度化・効率化を図る取組を先導的に進めています。

河道や高水敷などの河川空間の適切な管理のため行っている河川巡視や、堤防や樋門といった河川管理施設やダム の点検の高度化・効率化を図るため、AI を活用した画像解析等の先進技術による異常の自動検知などの開発・実運用化を進めます。



### (13) ワンコイン浸水センサの実証実験

広域の浸水状況をリアルタイムに把握するため、小型かつ低コストで、堤防や流域内に多数の設置が可能なワンコイン浸水センサの実証実験を令和5年度から実施しています。堤防の越水・決壊などの状況や、地域における浸水状況の速やかな把握のため、ワンコイン浸水センサを企業や地方自治体等との連携のもと設置し、情報を収集する仕組みを構築することで、災害時の対応に活用する予定です。



設置するセンサのイメージ

#### (14) SMART-Grass (堤防除草の自動化)

広大な北海道における河川堤防の除草面積は10,000haを超え、健全な堤防機能の維持のための除草作業には多大な労力と費用が必要です。除草作業の効率化、省力化を目的にGNSS測位技術と河川堤防3Dデータを活用した除草機械の自動化を進めています。

### Before

**1台につき1人以上を要する運用、出来形を別途計測**

**遠隔式大型除草機**



**現在行われている堤防除草**

- ・出水期前の限られた時期に広範囲の堤防法面を除草するための人員の確保が必要
- ・除草の出来形資料作成(刈り高の確認と面積計測)に労力と時間がかかる

**ハンドガイド**



**出来形計測**



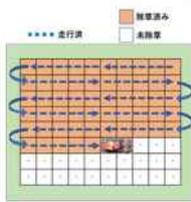
### After

**自動運転により1人で複数台を運用、出来形を自動計測**



**ICTを活用した堤防除草の自動化のイメージ**

- ・自動運転の実現による除草作業の省力化
- ・自動出来形計測による作業の効率化



# ちとせ 千歳川流域の治水対策

（直轄）

## 1. 概要

千歳川の中下流部には広大な低平地が広がっているため、洪水時に石狩川本川の高い水位の影響を長い区間にわたり長時間受けるなど水害が起きやすい特性を有しており、ほぼ2年に1度の頻度で水害に見舞われています。

特に、昭和56年8月上旬洪水は未曾有の大洪水となり、被害家屋2,683戸、浸水面積192km<sup>2</sup>の被害が発生しました。

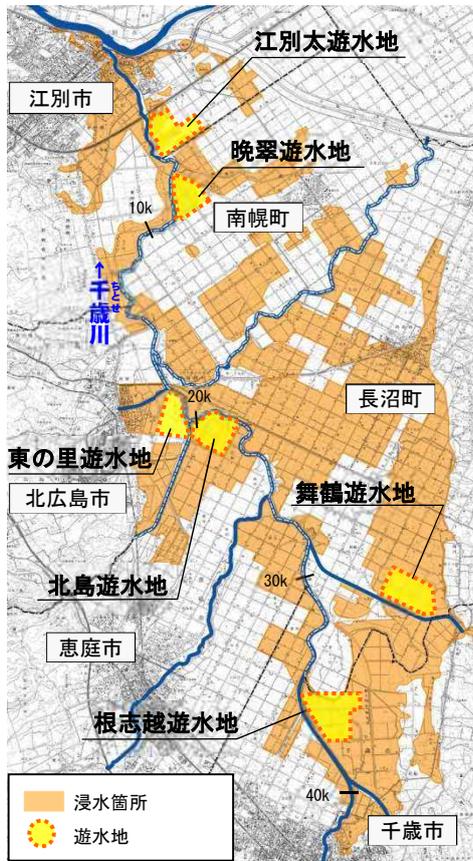
この戦後最大規模の洪水被害を解消するため、千歳川河川整備計画に基づき、堤防の整備や遊水地群の整備等を推進しており、遊水地群については、令和2年度よりすべての遊水地で供用を開始しています。また、河川整備に加え、流域治水を本格的に実践するため、令和5年度に千歳川流域を特定都市河川に指定したことから、地域が一体となった流域対策を一層推進し、早期に水害への安全性の向上を図ります。

## 2. 計画内容

箇所名：江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、南幌町、長沼町

R6実施内容：築堤、掘削、用地補償等

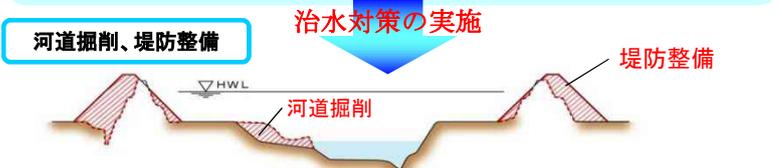
### ■S56.8月上旬洪水による浸水実績図



千歳川の中下流部には広大な低平地が広がっているため、洪水時に石狩川本川の高い水位の影響を長い区間にわたり長時間受けることから、

- ◆堤防破堤等の危険性が高い。
- ◆雨水等が川に十分に排水ができない。

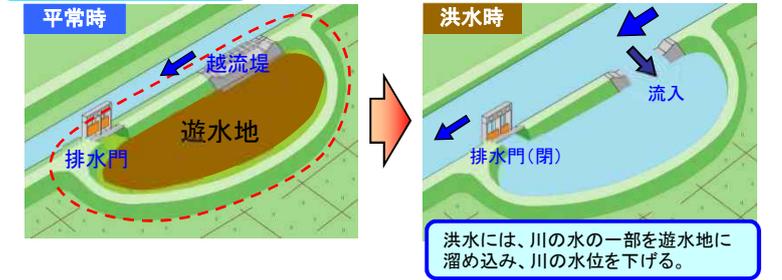
などの課題を有する。



川の断面を拡幅して洪水時の水位を下げる。

堤防の断面を大きくし、高い水位が長時間続く洪水に対応する。

遊水地群の整備 ※令和2年度供用開始



# きたむら 北村遊水地整備事業

（直轄）

## 1. 概要

石狩川流域には道都札幌市等が位置し、北海道の社会、経済の中核となっているほか、流域内の広大な農地は我が国有数の食料供給地となっています。特に昭和56年8月上旬洪水時には、11箇所の堤防が決壊するなど、氾濫面積614km<sup>2</sup>、被害家屋約22,500戸におよぶ甚大な浸水被害が発生しました。この戦後最大規模の洪水から石狩川流域を防御するため、北村遊水地の整備を推進します。

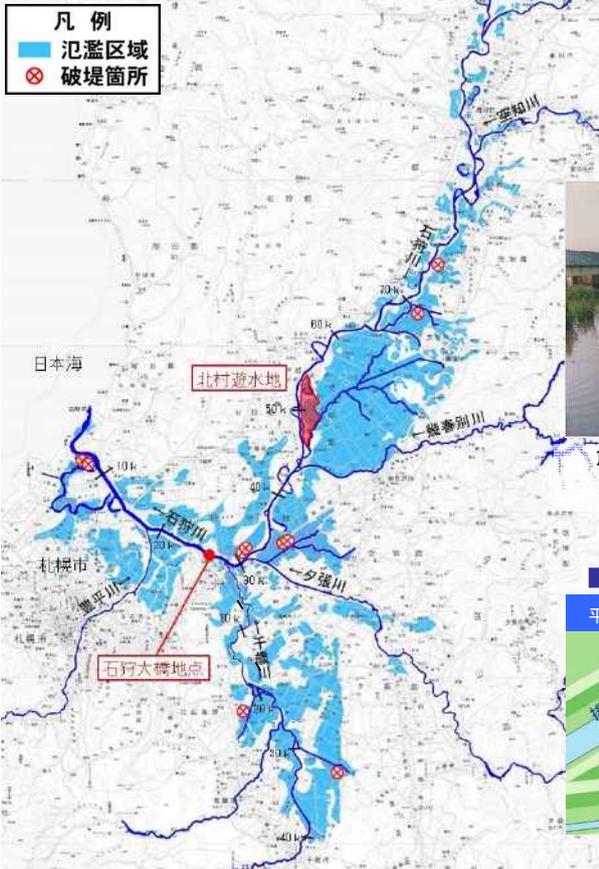
## 2. 計画内容

箇所名：岩見沢市、月形町、新篠津村  
面積：A=950ha  
事業予定期間：平成24年度～令和12年度  
R6実施内容：築堤、排水門、用地補償等



### ■S56.8上旬降雨による浸水区域

<S56.8上旬洪水被害概要>  
・氾濫面積約614km<sup>2</sup>、  
・被害家屋約22,500戸、死者2名



昭和56年8月洪水の浸水状況



創成川 市街地の浸水状況 (札幌市)



石狩川右岸 下新篠津付近の氾濫状況 (江別市)

### ■遊水地のイメージ



平時は農地として利用



洪水時は遊水地として機能を発揮

令和6年度（継続）

# 網走川 おおぞら 大空地区河川防災ステーション

（直轄）

## 1. 概要

網走川では、近年、家屋等が浸水するなど、洪水による被害が頻繁に発生しています。

大空地区河川防災ステーションは、網走川水系の洪水被害を軽減するため、災害時の応急復旧活動を行う上で必要な土砂、コンクリートブロックなどの復旧用資材の備蓄、水防センター及び駐車場等の整備を行い、災害時における活動の拠点となる重要な施設です。

また、平常時は、網走湖に隣接する立地条件を活かして、河川を軸とした環境学習や防災学習等の活動の拠点として、地域の方々のコミュニティの場として活用できる整備を行います。

## 2. 計画内容

箇所名：大空町

R6実施内容：水防センター整備、基盤整備

大空地区河川防災ステーションイメージ図



令和6年度（新規）

# 空知川 いくとら 幾寅地区MIZBEステーション

（直轄）

## 1. 概要

平成28年8月洪水により激甚な災害が発生した南富良野町幾寅地区において、再度災害防止対策の整備や地域防災力の向上を目的に、地域と連携した地域連携防災事業を推進しています。この事業の一環として水防活動や災害復旧の拠点の機能のほか、地域活性化や賑わいの創出に資する機能を併せ持つMIZBEステーションの整備を、北海道開発局と南富良野町が連携して推進するとともに、地域の活性化につながる賑わいのある河川空間の創出を目指し「南富良野町かわまちづくり」の取組も推進します。

## 2. 計画内容

箇所名：南富良野町

R6実施内容：盛土造成、水防センター等



令和6年度（継続）

## 幾春別川総合開発事業（新桂沢ダム・三笠ぼんべつダム）

（直轄）

### 1. 概要

幾春別川を含む石狩川下流域は、豊かな農地として利用されており、また、流域内には道央圏と上川地域を結ぶ基幹交通施設が位置するなど交通の要衝となっています。このような、幾春別川を含む石狩川下流域において、洪水災害から地域社会を守るため、幾春別川総合開発事業を推進します。

新桂沢ダムは、昭和32年に完成した北海道の直轄多目的ダムである桂沢ダムを約12m嵩上げする再開発ダムであり、令和5年度に完成しました。

三笠ぼんべつダムは幾春別川の支流である奔別川において新たに建設される治水専用ダムであり、令和4年度より本体工事を実施しています。

### 2. 計画内容

#### ○目的

- ・洪水調節（幾春別川、石狩川の洪水防御（三笠市等の5市2町1村））
- ・流水の正常な機能の維持
- ・水道用水の供給（桂沢水道企業団（三笠市、岩見沢市、美唄市）：0.1m<sup>3</sup>/s）
- ・工業用水の供給（北海道企業局：0.149m<sup>3</sup>/s）
- ・発電（電源開発株）：最大 17,290kW）

#### ○ダム諸元

##### 【新桂沢ダム】

- ・型式：重力式コンクリートダム
- ・堤高：75.5m（嵩上げ高11.9m）

##### 【三笠ぼんべつダム】

- ・型式：台形CSGダム
- ・堤高：53.0m

#### ○OR6実施内容

- ・本体工事（三笠ぼんべつダム）、旧橋撤去 等



新桂沢ダム（令和5年12月撮影）



三笠ぼんべつダム（完成予想図）

令和6年度（継続）

## 雨竜川ダム再生事業（雨竜第1ダム・雨竜第2ダム）

（直轄）

### 1. 概要

雨竜川を含む石狩川下流域は、豊かな農地として利用されており、また、流域内には道央圏と上川地域を結ぶ基幹交通施設が位置するなど交通の要衝となっています。このような、雨竜川を含む石狩川下流域において、洪水災害から地域社会を守るため、雨竜川ダム再生事業を推進します。

雨竜川ダム再生事業は、令和5年度から建設段階に移行し、雨竜第2ダムにおいては令和6年度より本体工事着手を予定しています。

### 2. 計画内容

#### ○目的

- ・既設：発電（北海道電力㈱）
- ・再生：洪水調節（雨竜川、石狩川の洪水防御（幌加内町等の1市6町））

#### ○ダム諸元

##### 【雨竜第1ダム】

- ・型式：重力式コンクリートダム
- ・堤高：45.5m

##### 【雨竜第2ダム】

- ・型式：重力式コンクリートダム
- ・堤高：35.7m（嵩上げ高3.8m）

#### ○R6実施内容

- ・本体工事、付替道路工事 等



雨竜第1ダム（容量振替）



雨竜第2ダム（堤体かさ上げ・容量振替）

# 糠平ダム再生事業

（直轄）

## 1. 概要

音更川を含む十勝川流域は、豊かな農地として利用されており、また、流域内には道東圏と道内各地を結ぶ基幹交通施設が位置するなど交通の要衝となっています。

このような音更川を含む十勝川流域において、洪水災害から地域社会を守るため、既設ダムを運用しながら最大限に活用する「ダム再生」として、糠平ダム再生事業の治水機能増強検討調査に着手します。

## 2. 計画内容

### ○目的

- ・既設：発電（電源開発株）
- ・再生：洪水調節（音更川、十勝川の洪水防御（帯広市等の1市7町））

### ○ダム諸元

- ・型式：重力式コンクリートダム
- ・堤高：未定 ※詳細については、今後の調査・検討及び関係機関との協議により確定

### ○R6実施内容

- ・既設ダム活用検討調査、水文調査、環境調査、地質調査 等

### 位置図



糠平ダム（令和4年7月）

### 主な既往災害

洪水	被災状況
H28年8月	被災家屋：356戸 氾濫面積：1,412ha

# たるまえさん 樽前山火山砂防事業

（直轄）

## 1. 概要

樽前山は、1667年から1987年までに大規模～中規模の噴火を繰り返し、1739年の大噴火では火砕流が山麓まで流下しました。昭和53年(1978)のごく小規模の噴火後も火口の高温状態が続いており、平成8年(1996)以降地震活動が増加、平成22年(2010)にも火山性地震が2回発生し火山性微動が起きるなど、いつ噴火してもおかしくないと言われ、気象庁の常時観測火山となっています。

樽前山麓には苫小牧市・白老町の市街地が位置し、道央自動車道・国道36号・JR室蘭本線などの重要交通網や新千歳空港・苫小牧港・苫小牧臨海工業地帯などの物流拠点が集中しており、噴火した場合、甚大な被害の発生が危惧されます。このため、火山泥流災害の被害軽減を目的として平成6年度から直轄火山砂防事業により砂防設備の整備を進めています。

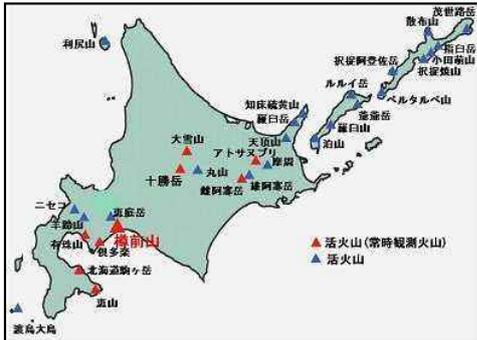
## 2. 計画内容

箇所名：苫小牧市、白老町

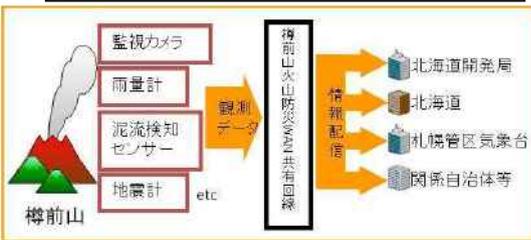
実施内容：砂防堰堤工等

事業予定期間：平成6年度～

R6実施内容：<sup>おぼろがわ</sup>覚生川砂防堰堤群等



樽前山麓に広がる  
苫小牧市街地と重要交通網



樽前山火山情報共有イメージ



覚生川砂防堰堤群（建設中）



令和6年度（継続）

# いぶり 胆振海岸 海岸保全施設整備事業

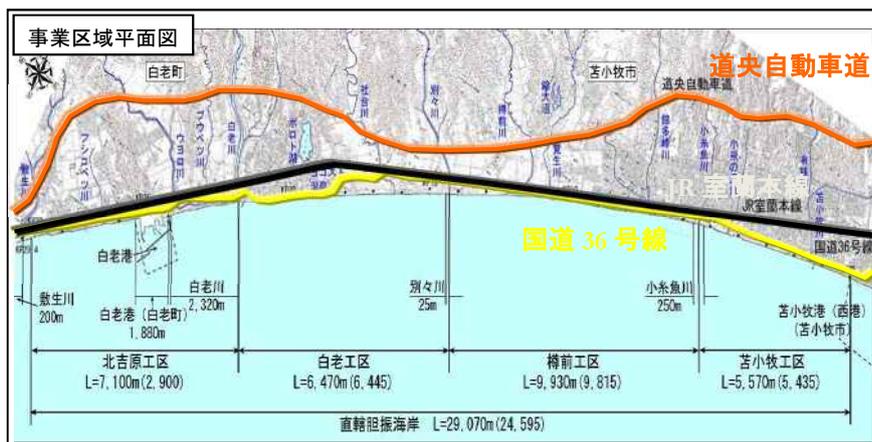
（直轄）

## 1. 概要

胆振海岸は北海道の物流の要である苫小牧港の西側に位置する海岸であり、背後には重要交通網の国道36号、JR室蘭本線が隣接するとともに、それらに面して住宅が密集しています。当海岸では、海岸侵食の進行に伴い、夏期から秋期にかけての台風や季節風による波浪災害が頻発しており、住民生活、経済活動に重大な影響を及ぼしていることから、海岸侵食対策として人工リーフ整備を推進します。

## 2. 計画内容

箇所名：苫小牧市、白老町  
直轄区間延長：L=24.595km  
事業開始時期：昭和63年度  
R6実施内容：白老工区 人工リーフ 等



# 釧路湿原自然再生事業

（直轄）

## 1. 概要

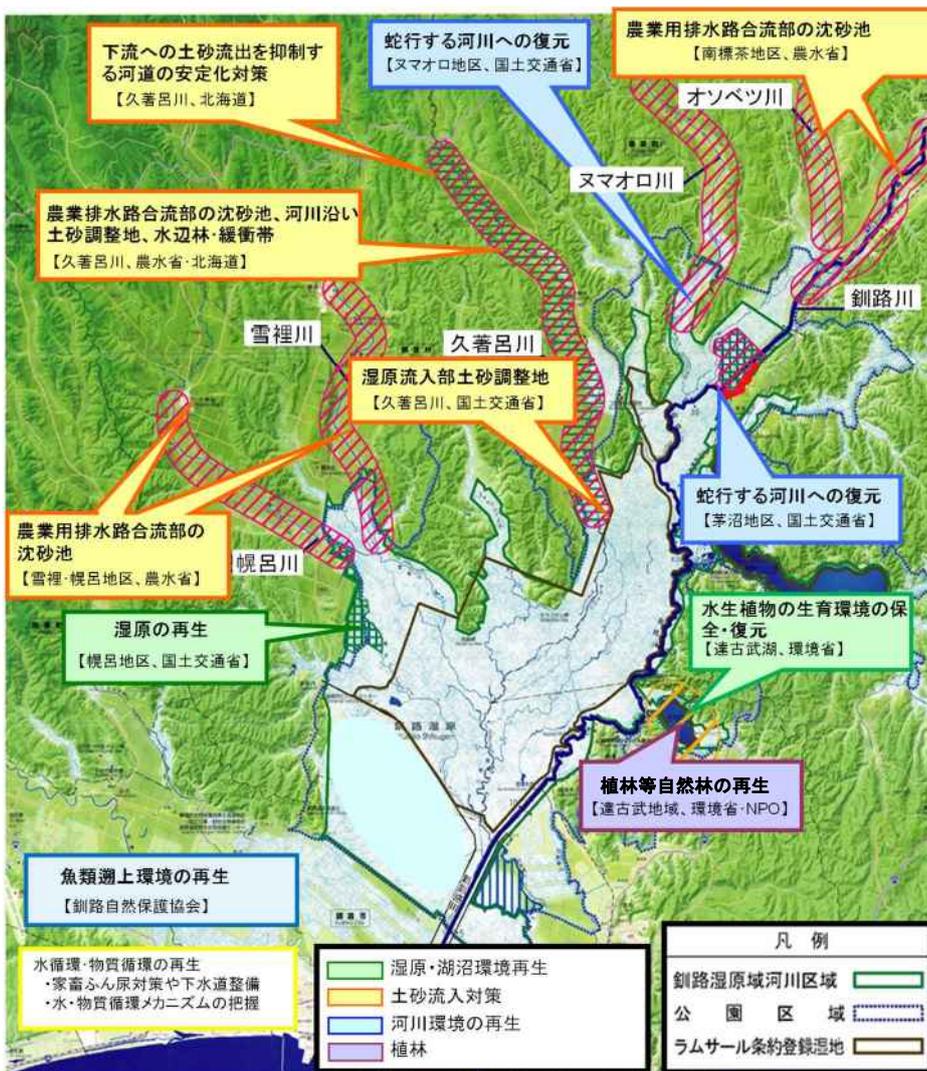
わが国最大の湿原である釧路湿原は、流域内の農地・宅地の開発や、河道の直線化などに伴う湿地への土砂流出量増加により、この60年間で湿原面積の約3割が減少しています。

このことから、釧路湿原地区は直線河川の再蛇行化や土砂調整地整備、地盤掘り下げなどを実施することにより、「湿原生態系の質的量的な回復」「湿原生態系を維持する循環の再生」「湿原と持続的に関わる社会づくり」を目標に、湿地環境を復元し湿原生態系の保全・再生を図ります。

## 2. 計画内容

箇所名：釧路湿原地区

R6実施内容：湿原再生、旧川復元 等



幌呂地区湿原再生



ヌマオロ地区旧川復元



## 2. 道路事業

### <基本方針>

北海道開発については、「第9期北海道総合開発計画」（令和6年3月12日閣議決定）において、従来の北海道の強みである「食」と「観光」を一層強化するとともに、再生可能エネルギーのポテンシャルによる「脱炭素化」を新たな価値と位置付け、豊かな北海道を実現し我が国の経済安全保障に貢献することを旨とし、北海道の価値を生み出す生産空間の維持・発展を図ることとしています。

道路における具体的な取組としては、「世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成」に向け、農水産物等の輸送を支える高規格道路の整備、新幹線駅に直結するバスターミナルや創成川通（都心アクセス道路）の整備等を推進します。また、「観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり」に向け、道の駅における情報提供の多言語化、シーニックバイウェイ北海道、サイクルツーリズム等を推進します。さらに「ゼロカーボン北海道の実現」に向け、道の駅における急速EV充電施設の設置等を推進します。

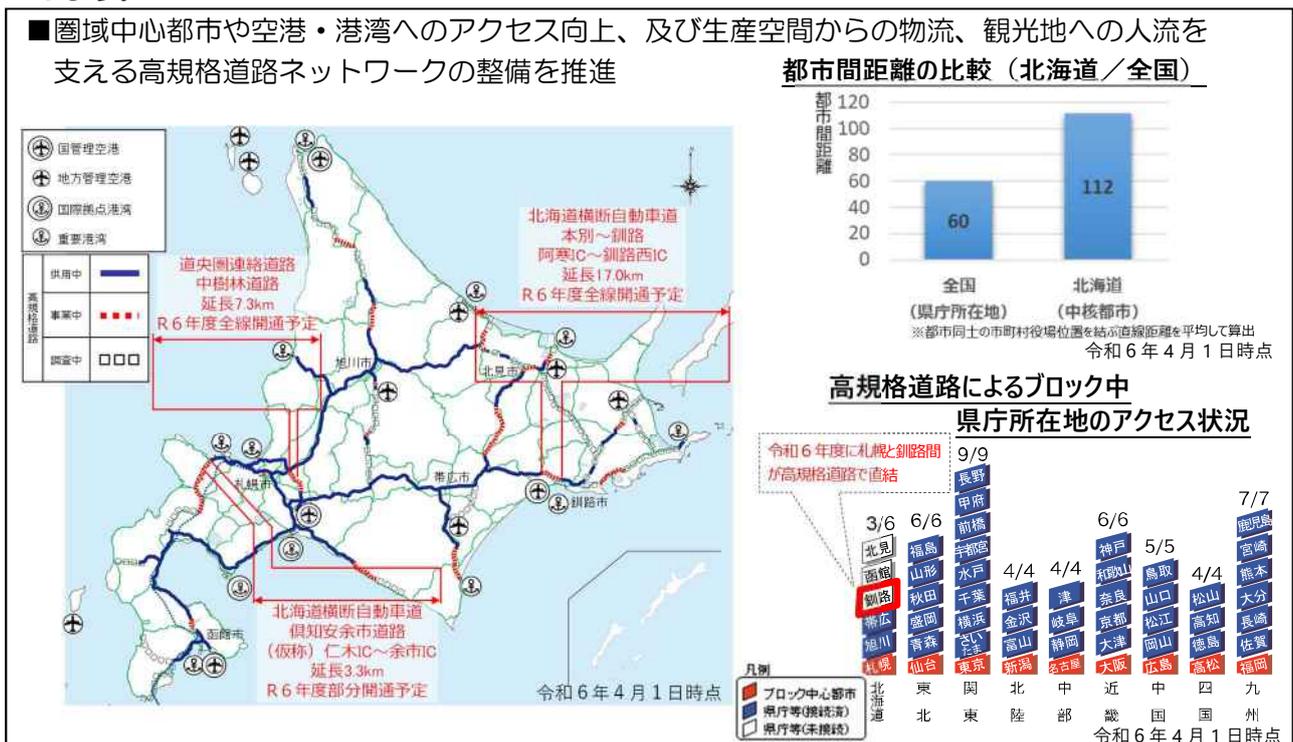
気候変動により激甚化・頻発化する水災害や巨大地震等の大規模災害、インフラの老朽化の現状等を踏まえ、「生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり」に向け、災害時における代替性確保のための高規格道路整備や基幹的な道路ネットワークの強化、社会経済活動を支える道路施設の予防保全型のメンテナンスへの転換、i-Snow等のインフラ分野のDX化による現場の生産性・効率性の向上を推進します。

### <主要施策>

#### 1 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成

##### (1) 広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備

広域分散型社会を形成している北海道において、食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靱性を確保し、地域間の連携強化を図るため、高規格道路ネットワークの整備を推進します。



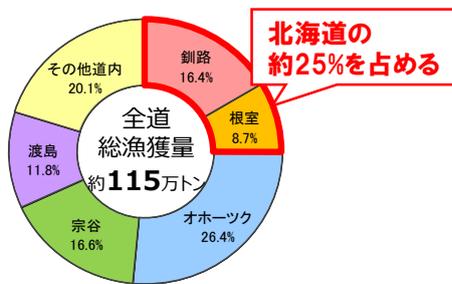
＜生産性向上が期待されるストック効果

北海道横断自動車道 本別～釧路 ー根釧地域の農水産品輸送を支援ー>

( E38 道東自動車道 阿寒 IC～釧路西 IC [令和6年度開通予定])

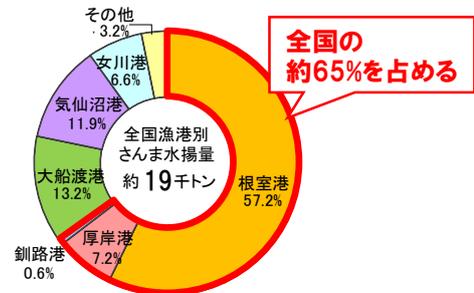
- 北海道の漁獲量のうち、釧路・根室地域は約25%を占めています。また、釧路・根室地域で水揚げされる生さんまの水揚げ量は全国シェアの65%を占め、釧路港のほか、北海道横断自動車道等を通り、小樽港や苫小牧港から道外へ出荷されています。
- 北海道横断自動車道（本別～釧路）の整備により、厚岸港～苫小牧港への所要時間は、整備前よりも往復2.4時間短縮されます。
- 消費地や輸送拠点へのアクセス性が向上することで、ドライバー負担や輸送コストが軽減され、安定的な流通が確保されていることから、持続可能な物流ネットワークの構築を支えています。

▼根釧地域で生産される農水産品輸送の支援



●全道の漁獲量シェア

出典：北海道水産現勢（令和4年）



●全国漁港別さんま水揚量

出典：産地水産物流通調査（令和3年）



※北海道開発局試算 ※荷役作業時間等は、トラック輸送状況の実態調査（国土交通省）資料：令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査（4時間連続運転で30分の休憩時間を含む）

## (2) 広域分散型社会を支える交通ネットワークの形成

北海道新幹線札幌延伸を見据え、道内各地を結ぶ高速道路と札幌都心とのアクセス強化を推進するとともに、札幌駅周辺における交通結節機能の強化を図ります。

### <道内各地を結ぶ高速道路と札幌都心とのアクセス強化>

- 札幌都市圏は、北海道全体に及ぶ中枢管理機能や他の基礎圏域では提供できない高次都市機能を担っています。
- 一方、人口が同規模の政令市に比べ、都心と高速道路のICとの距離が遠く、空港や道内各地域とのアクセスに課題があります。
- 北海道全域との広域的な交流・連携機能の確保を目指し、札幌都心部へのアクセス道路(創成川通)の整備を推進します。



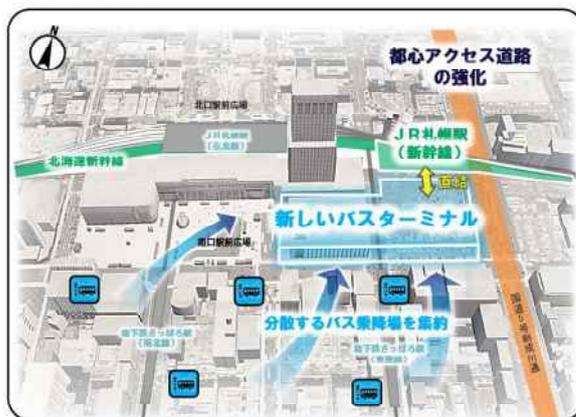
国道5号創成川通の混雑状況(冬期)



整備イメージ

### <札幌駅周辺における交流拠点整備>

- 札幌の玄関口にふさわしい空間の形成と高次都市機能・交通結節機能の強化を目指し、新しいバスターミナルの整備を推進します。
- 平常時は快適で利便性の高い待合空間、災害時は避難者の受入空間の確保等により防災拠点として寄与します。



#### 都心アクセスの強化

- ・都心アクセス道路(国道5号創成川通)の整備により、交通混雑、交通事故の低減を図り、都市機能を最大化

#### 新幹線駅との連携

- ・北海道新幹線札幌駅と一体的に整備
- ・東改札口及び交通広場を整備し、新たな公共交通システム等の二次交通と接続することで、一大交通結節点を形成

#### 新しいバスターミナル

- ・都市間バス、路線バスを集約するバスターミナルを整備
- ・札幌駅周辺において新たなモビリティ等多様な交通モードとの連携により交通結節機能を強化



待合空間のイメージ(平常時)



バス乗降空間のイメージ(平常時)



札幌駅周辺の帰宅困難者の様子(平成30年9月6日 北海道胆振東部地震時)

### (3) 北海道型地域構造の保持・形成に向けた物流効率化支援および地域公共交通支援

北海道型地域構造の保持・形成を図るため、地方部の生産空間で生産される農水産品の消費地への輸送や、地方部への日用品等の輸送といった物流の効率化を支援します。また、生産空間の利便性向上のため、生産空間と市街地をつなぐ地域公共交通の維持を支援します。

#### <物流効率化支援>

○これまで実施してきた道の駅や道路管理ステーション等を活用した中継輸送実証実験を踏まえ、計画的・効率的な中継拠点の実現に向けた検討を推進します。



中継拠点の配置ニーズが高いエリアと道路施設を活用した実証実験箇所



トレーラーのヘッド交換状況 (札幌～道北間 (名寄北管理ステーション))



白滝管理ステーションおよび道の駅「しらたき」での中継輸送実証実験



二セコ除雪ステーション等での中継輸送実証実験

#### <地域公共交通支援>

○生産空間と市街地をつなぐ自動運転バスの運行を、路車協調システムにより支援します。



路車協調システム (イメージ)



車両検知機器 (上士幌町)



自動運転の車両 (上士幌町)

## 2 多様で豊かな地域社会の形成

### ＜「生産空間」の維持・発展に資する「道の駅」の機能強化＞

地方部の「生産空間」を支える都市機能・生活機能の維持・確保を図るため、日常的な生活サービス機能を「道の駅」に集約するなど、地域の拠点づくりを支援していきます。「道の駅」の交通結節点化など、地域の拠点化に向けた多様な取組を推進していきます。

### ＜「道の駅」を拠点とした交通結節機能の強化＞

○「道の駅」を拠点とした、生産空間における持続可能な交通結節機能の強化を推進します。



#### 【取組事例】

道の駅「おとふけ」（令和4年4月15日移転開業）では、都市間バスや空港連絡バス（新千歳空港・帯広空港）の乗降場等を設置することにより交通結節機能の強化が図られています。



道の駅「おとふけ」のパークアンドライド

### ＜「道の駅」における子育て環境の創出＞

○親子で滞在しやすい子育て環境創出のため、子育て応援施設の整備を推進します。



子育て応援自販機  
道の駅「北オホーツクはまとんべつ」



24時間利用可能な授乳室  
道の駅「ハウスヤルビ奈井江」



屋根付き駐車スペース  
道の駅「風Wとままえ」

### ＜「道の駅」における情報提供の多言語化＞

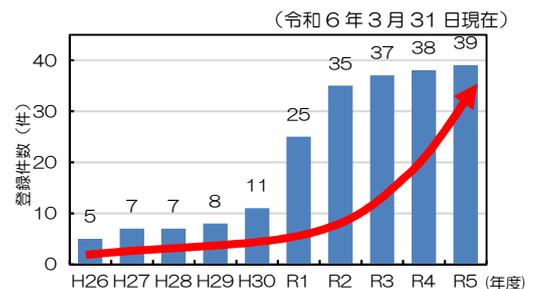
○日本政府観光局（JNTO）外国人案内所の認定取得や、多言語による観光地案内・道路情報提供の充実等の取組を推進します。



翻訳機の活用  
道の駅「なないろ・ななえ」



「道の駅」におけるQRコードを利用した情報発信



道内「道の駅」のJNTO外国人案内所認定駅数

### 3 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり く「シーニックバイウェイ北海道」の推進>

○シーニックバイウェイ北海道は、地域と行政が連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う取組です。平成17年度より開始し、現在、14の指定ルートと3つの候補ルートがあり約500団体が活動しています。



沿道の植栽活動（千歳市）



フォトコンテスト・パネル展  
 (道の駅「えんべつ富士見」)



冬期キャンドルイベント（函館市）

#### ■シーニックバイウェイ「秀逸な道」

・道内各地の活動団体がお薦めする特に魅力ある景観等を有する道路を12区間認定し、景観の維持・形成や誘客に向けた情報発信等を重点的に実施します。また、令和5年から「秀逸な道」看板を順次設置しており、北海道のドライブ観光をより一層促進します。



## ＜サイクルツーリズムの推進＞

○世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向け、安全で快適な自転車走行環境の改善やサイクリストの受入環境の充実、情報発信の取組を推進します。

### ■「ルート協議会」の登録状況

- 「北海道サイクルルート連携協議会」（令和元年8月設立）において、質の高いサイクルツーリズムを提供する団体（ルート協議会）を募集し、要件を満たすルートに登録しています。



- 北海道サイクルルート連携協議会**  
北海道開発局、北海道運輸局、北海道、北海道商工会議所連合会、北海道観光振興機構、ツーリックバイウェイ支援センターにより構成
- ルート協議会**  
質の高いサイクルツーリズムを提供する団体。市町村、総合振興局・振興局、開発建設部、民間事業者団体（観光協会、商工会議所等）、自転車関連団体等により構成

### ■自転車走行環境の改善



### ■受入環境の充実



### ■情報発信



### ●道内10番目のルートが取組スタート

北海道サイクルルート連携協議会と連携・協働し、質の高いサイクルツーリズムを提供するサイクルルートとして「どうなん海道サイクリングルート」が取組をスタートしました。「どうなん海道サイクリングルート」は津軽海峡・日本海・太平洋を8の字で結ぶルートに奥尻島を加えた全長約459kmのサイクルルートです。世界文化遺産の「北海道・北東北縄文遺跡群『垣ノ島遺跡、大船遺跡』」、日本遺産の歴史的建造物群を有する「いにしえ街道」などの【歴史】や大沼国定公園、活火山恵山、オクシリブルーの海などの【風景】を楽しみながら巡るサイクルルートです。



歴史的景観形成建物（いにしえ街道）

### ●自転車・大型車相互の走行環境実験

道路空間を安全に共有する「シェア・ザ・ロード」の意識醸成に向け、サイクリストと大型車ドライバーが互いの走行環境を体験する走行実験を実施しました。

大型車による自転車の追い抜き実験では、大型車と自転車の間隔を変え、心拍数変化やアンケート結果から恐怖感の違いを把握し、追い抜きの際は1.5mの間隔確保がサイクリストの安心感向上に有効であることが分かりました。

実験結果はバス・トラック事業者の安全運転教習等へ活用し、安全啓発を促進します。



追い抜かれる自転車側を体験する大型車ドライバー



大型車の死角範囲を確認するサイクリスト

### ●フォトコンテストの実施

サイクリストに訪れてもらうきっかけづくりとして、「サイクルルート北海道フォトコンテスト2023」を実施しました。サイクルルートのいずれかの沿線で「自転車をテーマにした写真」をご応募頂き、「サイクルルート北海道50選」を選出しました。応募写真を活用し情報発信の取組を推進します。



きた北海道ルート



オホーツクサイクリングルート



オロロンライン・サイクリングルート

#### 4 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

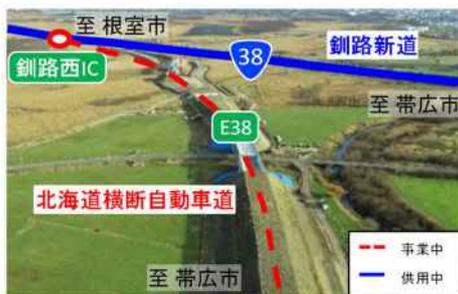
##### (1) 災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格道路の整備や緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。

また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（令和2年12月閣議決定）を踏まえ、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(北海道ブロック版)」を令和3年4月に策定し、耐災害性の強化や災害時におけるネットワーク確保のため防災震災対策や高規格道路のミッシングリンク解消を推進します。

- ・災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能を確保するため、高規格道路のミッシングリンクの解消及び高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を実施します。
- ・橋梁や道路の流失、土砂災害、電柱倒壊等による道路の通行止めリスクの解消や津波や洪水からの避難場所確保のため、河川に隣接する道路構造物等の流失防止対策や法面・盛土対策、無電柱化、盛土等を活用した避難施設の整備を実施します。

##### ▼災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化



北海道横断自動車道 本別～釧路  
阿寒IC～釧路西IC【令和6年度開通予定】



北海道横断自動車道（国道5号）倶知安余市道路

##### ▼道路法面・盛土の土砂災害防止対策



国道238号 稚内市東浦地区

##### ▼盛土区間等を活用した津波や洪水からの浸水対策 ※浸水想定エリア(低床地)から高台にある道路等の避難施設を整備



日高自動車道 厚真町鹿沼地区（対策事例）

##### ▼河川隣接構造物の流失防止対策



国道44号 釧路町（対策事例）

##### ▼道路施設の老朽化対策



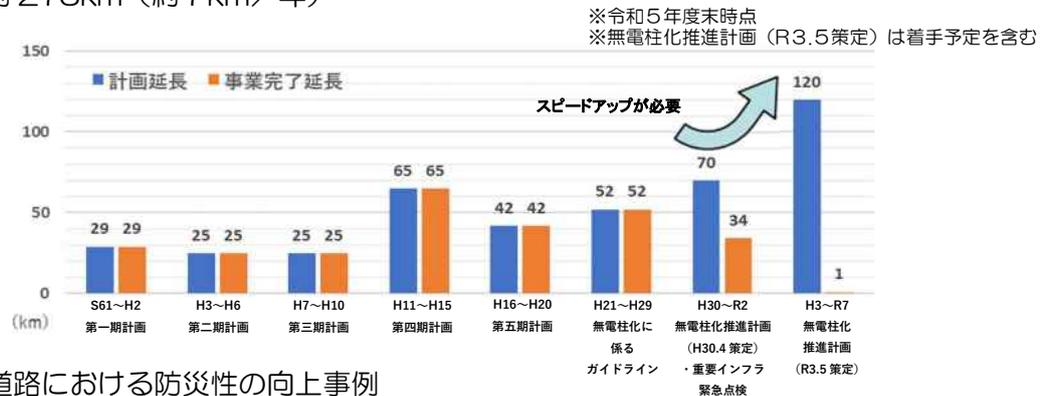
深川留萌自動車道 秩父別町（対策前）

## (2) 防災、歩行空間の確保、景観の向上に資する無電柱化の推進

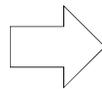
道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化について、低コスト技術を積極的に導入しつつ、スピードアップを図ります。

### ■無電柱化整備状況（北海道）

- 北海道における無電柱化整備済延長（S61～R5末の計38年間の施工延長）は、令和5年度末時点で約273km（約7km/年）



### ■緊急輸送道路における防災性の向上事例



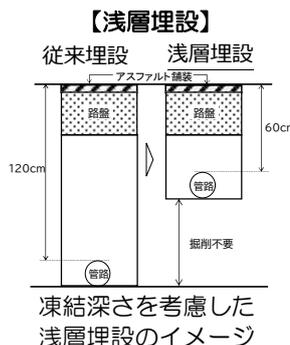
道路の防災性の向上（国道44号 釧路市）

### ■低コスト・スピードアップ手法

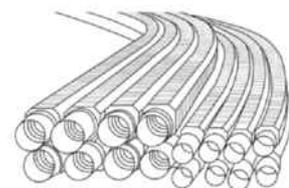
- 積雪寒冷な環境下でも活用可能な技術を官民連携のもと開発・導入。また、冬期施工の回避及び施工期間の確保を目的に複数年合意を導入



浅層埋設、角型多条電線管の施工  
（国道5号 七飯町）



### 【角型多条電線管】



角型多条電線管のイメージ  
（国土交通省 HP より）

〔従来よりも浅い位置に管路を埋設することで掘削量や仮設材を削減〕  
〔安価で弾性があり、軽量の管種の採用で施工性改善とコスト低減〕

### 【新工法の活用（トレンチャー掘削機）】



トレンチャー機械による掘削の試験施工  
（国道5号 七飯町）

#### <掘削速度の比較>

<従来施工>  
バックホウ掘削

約10m/h

※土木工事標準積算基準書による試算値（掘削幅50cm、掘削深さ100cm）

<新工法>  
トレンチャー掘削

約90m/h

※令和2年度 寒地土木研究所による試験施工実測値（掘削幅61cm、掘削深さ100cm）

〔令和3年度、国道5号七飯町での電線共同溝設置工事において、北海道の公道で初めて採用。寒地土木研究所協力の下、工事期間短縮やコスト縮減について検証。〕

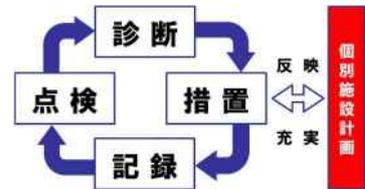
### (3) 社会経済活動を支える道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

○事後保全から予防保全への転換に向け、ドローン等新技術の活用による点検の高度化・効率化や施設の集約・再編等のインフラストックの適正化等により、戦略的なインフラ老朽化対策を推進するとともに、人材育成や技術支援を推進します。

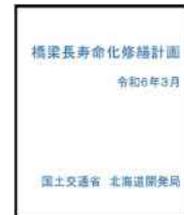
#### ■メンテナンスサイクル

橋梁等の道路構造物について、適切に点検・診断、その結果に基づく修繕等を実施するメンテナンスサイクルを構築しています。

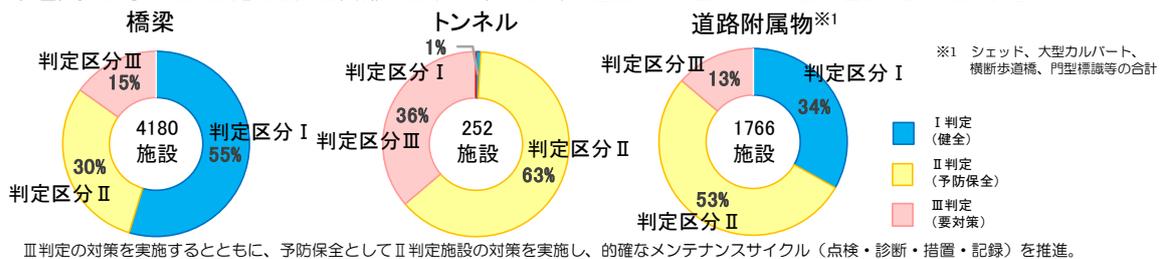


#### ■個別施設計画の策定

橋梁等の道路構造物について、国土交通省のインフラ長寿命化計画（行動計画）に基づき、点検・診断等の結果を踏まえた個別施設計画（橋梁長寿命化修繕計画、道路トンネル個別施設計画、大型の構造物個別施設計画）を策定し、計画的な維持管理を図っています。



#### ■北海道開発局の管理施設数と点検結果の状況（1巡目点検(2014年度～2018年度)の結果)



#### ■積雪寒冷地における道路舗装の長寿命化と予防保全に関する検討委員会

(委員長：北海道科学大学 亀山修一教授)

積雪寒冷地特有の凍結融解や老朽化による損傷等の現在抱えている舗装に関する問題点に対して、AIを活用した損傷状況の把握による点検の効率化や新たな舗装技術の確立など、より耐久性の高い舗装技術、より効率的な補修方法等について技術的な検討を行うことを目的に令和3年度から検討委員会を開催しています。



車載カメラにより路面状況を撮影

耐久性の高い舗装技術について、技術募集を実施し現場実証を行うなど、新たな舗装技術の活用に向けて議論・検討するとともに令和5年度から、全道でAIを活用した舗装点検・診断を本格運用しています。



撮影動画より路面のひび割れ等をAI評価

#### ■点検の高度化・効率化

トンネル、橋梁、舗装の定期点検では、点検支援技術活用を原則化し、新技術の活用を推進しています。

##### <新技術活用事例>

トンネル覆工部を撮影し展開画像を使用することで、人力の点検調書作成に係る現地作業を省略



画像計測技術による覆工撮影



覆工展開画像から損傷図を作成

#### (4) 冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。また、大雪・暴風雪時の取組として、道路管理者間で連携した高速道路通行止め時の並行路線対策やラジオ放送・SNS を活用した情報発信、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊：リエゾン<sup>注</sup>）を含む）の派遣による自治体支援などを、円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。

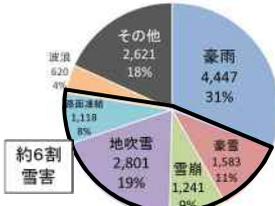
（注：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体へ派遣する職員）

##### ■ 直轄国道の通行止め

通行止め時間内訳(全国)  
(北海道/北海道外)



通行止め時間内訳  
(北海道)



※単位：時間  
※期間：平成30年度～令和4年度  
※北海道開発局調べ

【R5.1.29～31に発生した地吹雪状況】



国道239号で発生した地吹雪による視程障害（苫前町）

##### ■ 高規格道路の整備

【高規格道路の事業例（倶知安余市道路）】



並行する国道5号稲穂峠で発生した立ち往生車両

##### ■ 防雪対策

【国道における吹雪対策事例】



防雪柵の整備



自発光式の視線誘導標の整備

##### ■ 災害発生時における取組

【高速道路通行止め時の並行路線対策】



高速道路通行止め時における並行路線のCCTVカメラ監視強化



峠部に事前配備した除雪ドーザによる巡回除雪の実施



高速道路の緊急閉口部を活用した迅速な現地到達

国道5号小樽市張碓峠における対策状況

【SNSを活用した情報発信】



Xを活用した国道の通行止めに関する情報発信

【派遣による自治体支援の状況】



TEC-FORCE（リエゾン）派遣による自治体支援（上：稚内市 下：猿払村）（令和6年1月）

### (5) 交通安全対策の推進

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」\*を推進するとともに、自転車事故の危険性が高い区間については、自転車走行空間整備を計画的に推進します。

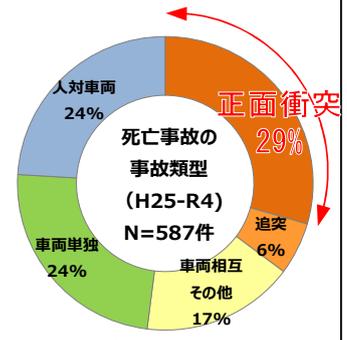
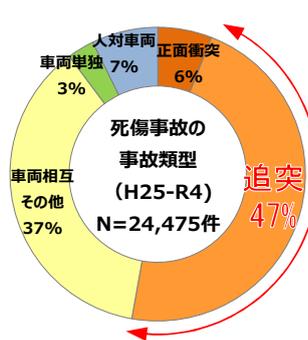
また、通学路においては、令和3年6月に千葉県八街市で発生した事故を受けて実施した通学路合同点検の結果に基づき、安全対策を推進します。

※事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組

#### ■北海道の事故危険区間（国道）における交通事故の発生状況



#### ■北海道の国が管理する道路における事故の特徴



#### ■対策事例等



歩道設置  
子供の安全な通行の確保（国道5号 森町）



可搬型ハンプ  
生活道路の交通安全対策（北見市）



追突事故等対策：交差点改良（国道12号 旭川市）



正面衝突事故対策：ランブルストリップス（国道5号 八雲町）

#### 【ビッグデータの活用】



事故発生箇所への対策



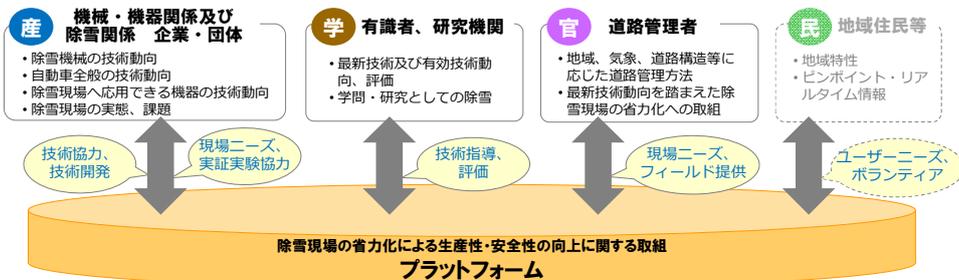
ETC 2.0プローブ情報等のビッグデータを活用することで、急ブレーキが多発する潜在的危険区間を発見

潜在的危険区間に対する未然防止型の対策

## (6) 除雪現場の省力化による生産性・安全性の向上に関する取組 (i-Snow)

人口減少や高齢化が進む中、除雪機械の熟練オペレータの高齢化や担い手不足など、除雪を取り巻く課題の解決のため、準天頂衛星「みちびき」と「高精度3Dマップデータ」を活用した運転支援ガイダンスや、投雪作業自動化の実証実験・実働配備を行っています。機械操作の自動化により、2名体制で行う除雪機械の運転操作が1名体制でも可能となり、人口減少下でも必要な除雪サービスを維持します。

### ■活動イメージ



### ■機械操作の自動化

- 投雪作業の自動化について、令和4年度から実働配備を開始、令和5年度より実働配備拡大。
- 準天頂衛星「みちびき」通信電波の不感地帯対策について検討を継続。
- 自動操作対象機械拡大の検討。



除雪現場の省力化イメージ



『除雪装置自動制御付』ロータリ除雪車

### ■吹雪時の映像鮮明化技術

- 吹雪等の視界不良時でも約100m先まで視認が可能となり、安全に除雪作業の継続が可能
- 令和3年度から全道へ実働配備を開始。今後も配備を拡大。



元映



鮮明化処理



映像鮮明化+AIを活用した物体検知・警告



### ■凍結防止剤散布支援システム(AIS3)

- 凍結防止剤散布操作の自動化としてオペレータの熟練度に左右されず、1名乗車でも安全・確実な散布作業が可能。AI学習機能を活用し自動散布する新たな機能の試行を実施。



凍結防止剤散布車



凍結防止剤散布状況



新たな機能の試行 (路面映像を基にAI活用し”すべり摩擦係数”を推定)

### ■i-Snow 取組 ロードマップ

平成28年度	平成29年度～令和5年度	令和6年度以降	目指す姿
i-Snow 発足	<p>【機械操作の自動化(ロータリ除雪車)】 実証実験&lt;知床峠・狩蹄峠&gt;(投雪作業自動化制「みちびき」不感地帯対策等) 実働配備開始&lt;知床峠&gt;(R4)、実働配備拡大&lt;高規格道路等&gt;(R5~)</p> <p>【吹雪時の車両運転支援】 吹雪時の映像鮮明化技術の調査・検討、実証実験(石狩地区) 実働配備開始(R3)、実働配備拡大(R4~)</p>	<p>【機械操作の自動化(ロータリ除雪車)】 実働配備拡大・課題の改善検討</p> <p>【自動操作対象機械拡大検討】 除雪トラック等の自動制御検討</p> <p>【吹雪時の車両運転支援】 実働配備拡大</p>	<p>・機械操作・運転の自動化により、人口減少や高齢化が進む中でも、冬期道路交通の確保に不可欠な除雪サービスを維持</p> <p>・吹雪時の映像鮮明化技術の活用により、除雪作業の継続が可能となり、天候回復後速やかに通行再開が可能となることで、運行止め時間を短縮</p>

### (7) 「道の駅」の防災拠点化

近年、激甚化・頻発化する自然災害に備え、各地で広域的な復旧・復興活動の拠点整備が進められており、地域防災計画に位置付けられた「道の駅」において、地域の防災力向上に資する防災拠点の整備や機能向上を図っています。

令和3年6月には地域防災計画等で、広域的な防災拠点に位置づけられている道の駅のうち、4駅を「防災道の駅」に選定しています。また、広域災害緊急対策の拠点となる防災機能を有する「道の駅」の駐車場を「防災拠点自動車駐車場」として指定しており、令和6年3月末時点で北海道内では36駅を指定しています。

「防災道の駅」をはじめとする地域防災計画に位置付けられた「道の駅」においては、更なる防災機能強化に向けて、BCPに基づく防災訓練等について重点的に支援していきます。



「防災道の駅」選定箇所



関係機関と連携した防災訓練  
道の駅「厚岸グルメパーク」



災害用トイレの設置訓練

道の駅「てしお」



道の駅「るもい」



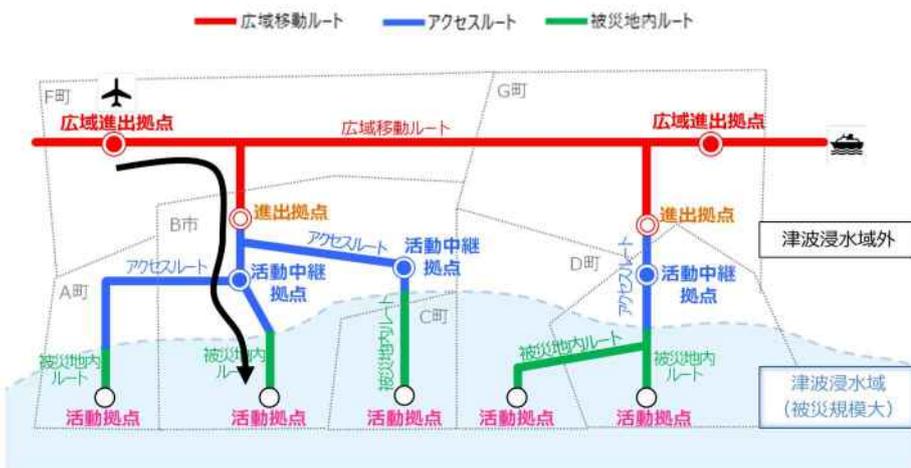
道の駅「阿寒丹頂の里」



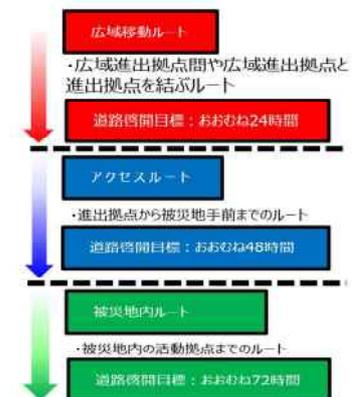
「防災拠点自動車駐車場」の指定にともなう災害時の制限

### (8) 北海道道路啓開計画の策定

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震などによる大規模災害時における道路啓開を迅速に行うため、道路管理者及び関係機関で構成される「北海道道路啓開計画検討協議会」を設立し「北海道道路啓開計画」（令和2年初版、令和4年第2版）を策定しました。



図：緊急啓開ルートのイメージ



重機の燃料確保について  
ENEOS との打合せ状況  
(令和6年2月29日)

## 5 地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現

### (1) 再生可能エネルギーの導入拡大、脱炭素化等の取組

地球温暖化防止が重要な政策課題となっている中で、北海道の豊かな自然や地域資源を活かしてグリーン社会の実現を主導していくことが求められています。ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組を推進し、持続可能な脱炭素社会の形成を図ります。

#### <「道の駅」を活用した次世代自動車普及及び促進の取組>

○令和4年4月に北海道開発局・北海道経済産業局・北海道地方環境事務所・北海道によるワーキングチームを設置し、道の駅設置者である市町村や道の駅管理者と連携し、「道の駅」に急速EV充電施設の設置を目指します。



道の駅「おびら練番屋」での充電状況



令和5年度 第1回ワーキングチーム開催状況  
(令和5年6月20日開催)



急速EV充電施設の展示及び普及促進取組紹介の様子  
(HOKKAIDO エコカー展示会 in アカプラ)  
(令和5年10月8日開催)



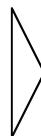
自治体担当者向け急速EV充電施設  
設置に関する勉強会の開催  
(令和5年9月5日、  
12月14日、15日開催)



Q&A集の作成

#### <道路照明灯のLED化>

○道路照明灯をLED化するとともに、設置間隔を広げることにより、消費電力量を削減し、CO2排出量を削減します。



国道230号 三豊トンネル(洞爺湖町)

## ＜道路ネットワーク整備＞

CO2 削減に大きく寄与する道路ネットワークの整備、渋滞対策等を推進します。  
 令和3年度から令和7年度までの直轄国道の開通により、CO2 排出量が約6万 t/年※削減します。

※北海道開発局調べ



函館・江差自動車道 茂辺地木古内道路



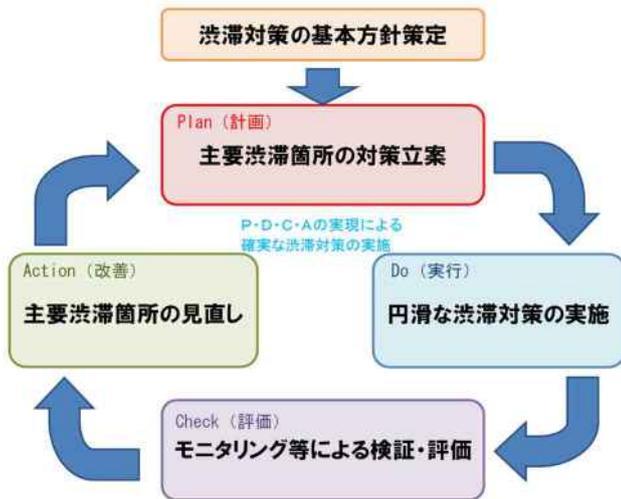
国道 230 号 定山溪拡幅

## ＜効率的・効果的な渋滞対策＞

北海道渋滞対策協議会において特定されている主要渋滞箇所（道内全143箇所）の解消に向けた検討・対策を実施します。

（令和5年度末現在 解除候補箇所：10箇所、対策中：49箇所、検討中：84箇所）

### ■渋滞対策の基本方針



### 【対策事例】

市街地の交通が集中する現道と並行する高規格道路の開通により、通過交通が高規格道路へ転換し、現道の渋滞が緩和



対策事例箇所図(函館上磯線)

### 【対策結果】



対策前 函館上磯線  
 （北斗→函館空港）

対策後 函館上磯線  
 （北斗→函館空港）

### 【渋滞対策の流れ】



道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。

具体的な対策として、右左折車線の設置・延伸、車線運用の改善、信号現示の調整等を行い、滞留長の解消や旅行速度の向上により渋滞を解消しています。

### <北海道インフラゼロカーボン試行工事>

○工事成績でのインセンティブを付与することで、道内建設業全体におけるカーボンニュートラルの意識醸成を図ります。

〈想定される取組〉

- ・ ICT 建設機械や環境対策型建設機械の活用
- ・ 太陽光発電を用いたユニットハウス等の活用

〈北海道開発局取組実施の評価〉

- ・ CO2 削減の取組を確認できた場合、工事成績におけるインセンティブを付与



環境対策型建設機械の活用



再生可能エネルギーの活用  
(太陽光発電を用いたユニットハウス)

### <自転車活用の推進>

○自転車通行空間の整備やシェアサイクルの普及促進等、自転車活用の推進を図ることにより、交通における自動車への依存を低減し、CO2 排出量を削減します。



自転車の通行位置を示す矢羽根型路面表示の設置例  
一般国道 230 号 (札幌市)

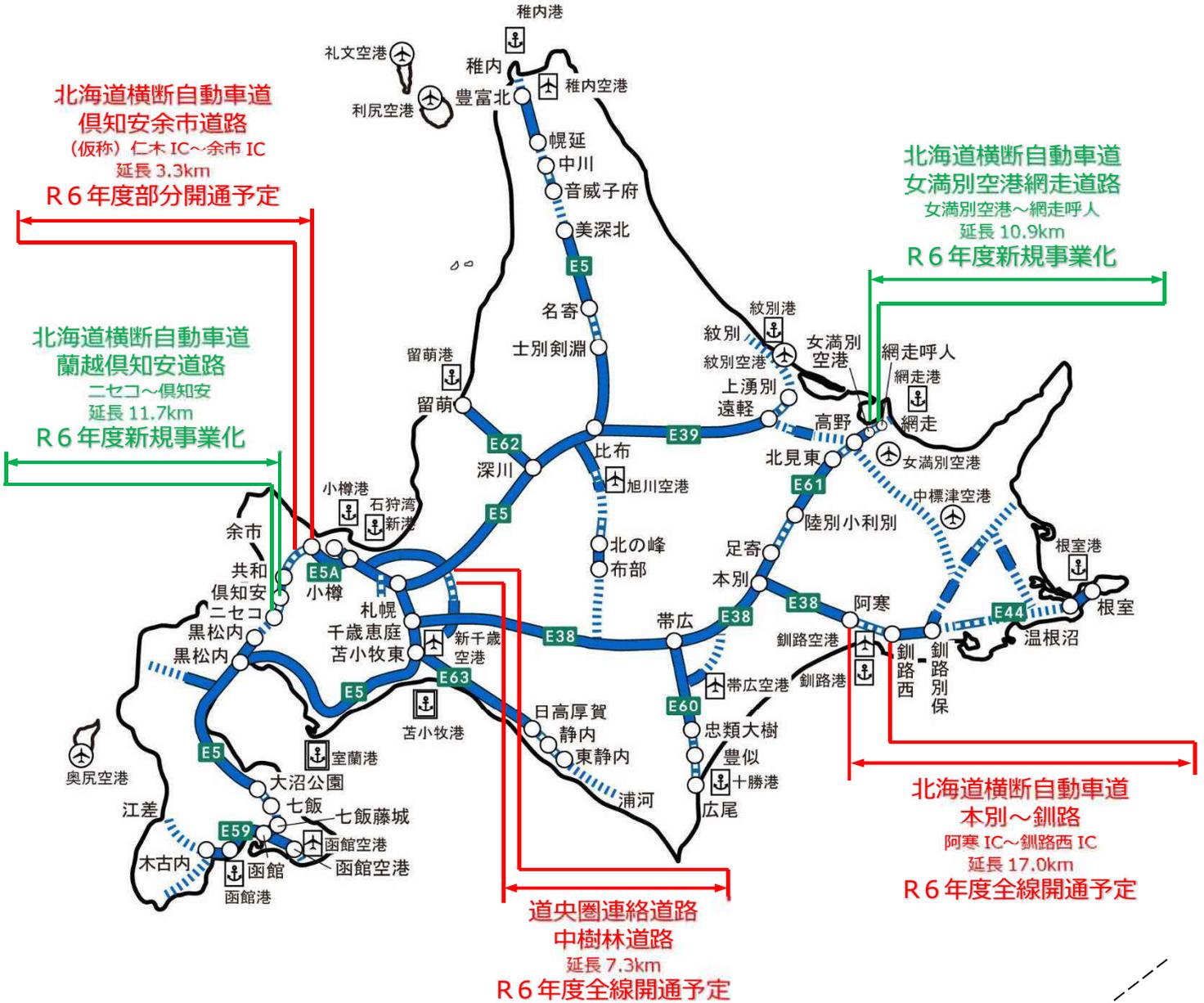
### <道路排雪の冷熱エネルギーとしての利活用>

○冬に国道の排雪を集積しておき、夏に周辺施設（糶貯蔵施設、養護老人ホーム等）の冷熱エネルギーとして利活用を推進します。



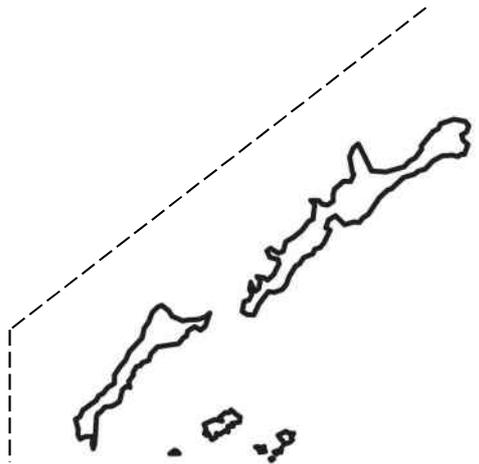
【参考】

道路ネットワーク図



凡例	
高規格道路	供用中
——	事業中
----	調査中

凡例		
空港	国管理	✈
	特定地方管理	✈
	地方管理	✈
港湾	国際拠点	⚓
	重要	⚓



令和6年度（開通予定）

# 北海道横断自動車道 ほんべつ くしろ 本別～釧路

（E38 道東自動車道 あかん くしろにし 阿寒IC～釧路西IC）

（直轄）

## 1. 概要

北海道横断自動車道ほんべつ くしろは、高速ネットワークの拡充による釧根圏と道央圏・十勝圏、オホーツク圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及びとまごまいび苫小牧港、しんちとせ新千歳空港等への物流の効率化等の支援を目的とした延長65.0kmの高速自動車国道です。

## 2. 計画内容

箇所名：ほっかいどうなかがわ北海道中川郡本別町 共栄  
～ほっかいどうくしろ北海道釧路市鶴野  
延長：65.0km  
令和6年度開通予定：阿寒IC～釧路西IC（延長17.0km）



### ▼災害時の輸送ルート強化

当該道路の整備により、災害発生時の避難先の確保や救急活動及び被災地外からの救援物資等の輸送ルートの強化が期待されます。

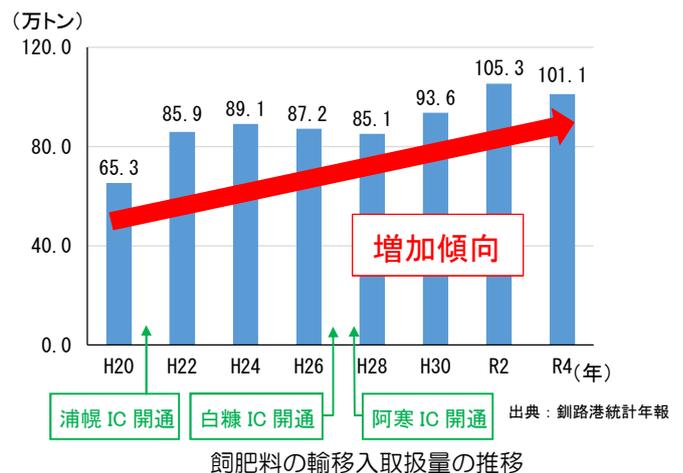


凡 例	
	R38利用
	整備前(R240・R241利用)
	道東道(釧路西IC利用)
	津波浸水予測区域
	東日本大震災による通行止区間

釧路市～帯広市間の所要時間  
【R38利用】: 143分  
【整備前】: 255分  
【道東道】: 131分

### ▼重要港湾釧路港の流通利便性向上

当該道路の整備により、釧路港から輸入され北十勝地域へ輸送される飼肥料等、釧路港取扱貨物の流通利便性向上が期待されます。



出典：物流事業者ヒアリング

令和6年度（開通予定）

一般国道5号 倶知安余市道路（共和～余市）

（E5A 後志自動車道（仮称）仁木IC～余市IC）

（直轄）

## 1. 概要

一般国道5号倶知安余市道路（共和～余市）は、後志自動車道の余市ICと接続し、後志管内における地域産業の活性化や、後志管内から小樽市・札幌市への救急搬送の速達性・安定性向上を目的とした延長27.6kmの一般国道のバイパス事業です。

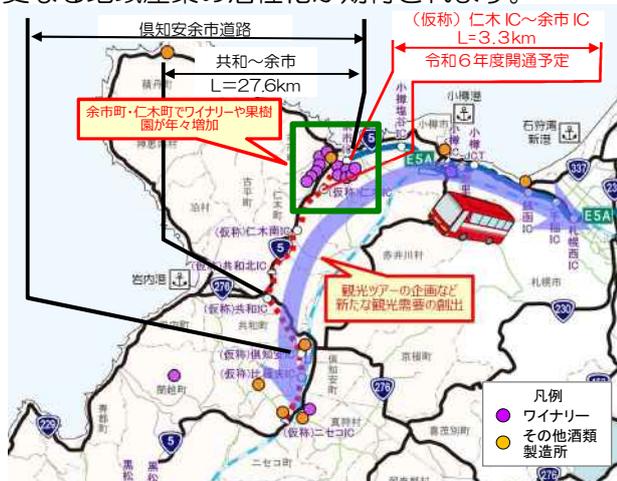
## 2. 計画内容

箇所名：北海道岩内郡共和町国富  
～北海道余市郡余市町登町  
延長：27.6km  
令和6年度開通予定：（仮称）仁木IC～余市IC（延長3.3km）

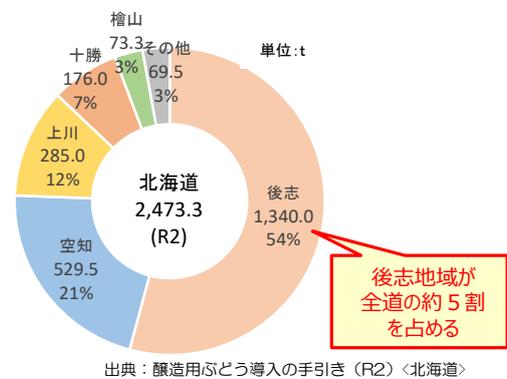


### ▼地域産業の活性化

当該道路の整備により、小樽・札幌方面からのアクセス性向上による新たな観光需要の創出など、更なる地域産業の活性化が期待されます。



後志管内の酒類製造所の分布状況

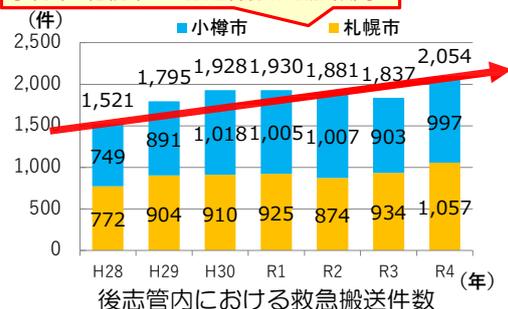


北海道の醸造用ぶどう収穫量

### ▼救急搬送の速達性・安定性向上

当該道路の整備により、峠部を回避する救急搬送ルートが確保され、後志管内から小樽市・札幌市への救急搬送の速達性・安定性の向上が期待されます。

小樽市・札幌市への搬送件数は増加傾向



高次医療施設への救急搬送状況と医療施設立地状況

令和6年度（開通予定）

# 道央圏連絡道路 中樹林道路

（直轄）

## 1. 概要

道央圏連絡道路中樹林道路は、道央自動車道江別東ICと接続し、高速ネットワークの拡充による札幌圏の連絡機能の強化を図り、地域間交流の活性化及び新千歳空港、苫小牧港等への物流の効率化等の支援を目的とした延長7.3kmの地域高規格道路です。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道空知郡南幌町南15線西  
～北海道江別市江別太  
延長：7.3km



### ■道央圏連絡道路の重要性

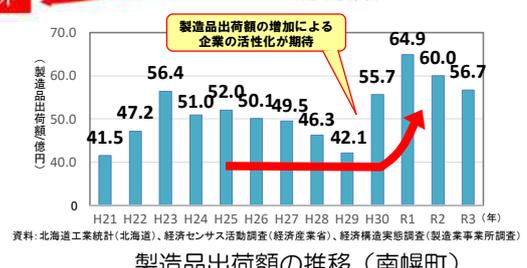
道央圏連絡道路は、道央都市圏外縁に位置し新千歳空港と石狩湾新港を結ぶ、物流にとって重要な道路です。そのうち、中樹林道路は道央自動車道との接続部に位置する道路です。

### ▼企業立地の促進

当該道路の整備により、沿線の工業団地と新千歳空港や石狩湾新港など物流拠点へのアクセスが向上し、企業立地の促進や新たな雇用の創出など、地域活性化が期待されます。



工業団地における企業立地件数の推移（南幌町）



製造品出荷額の推移（南幌町）

出典：南幌町ヒアリング

出典：北海道工業統計（北海道）

令和6年度（開通予定）

# 一般国道38号 釧路新道

（直轄）

## 1. 概要

一般国道38号釧路新道は、釧路空港、釧路港への物流の効率化等の支援をするとともに、釧路市街における交通混雑、交通事故の低減を図り、道路交通の定時性、安全性の向上を目的とした延長8.8kmのバイパス事業です。これまでに全線2車線（一部4車線）で開通しており、令和6年度に全線4車線での開通を予定しております。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道釧路市新野  
～北海道釧路市北園

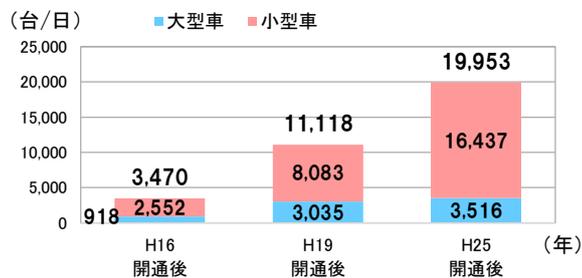
延長：8.8km

令和6年度開通予定：釧路市大楽毛～釧路市北園  
（延長4.1km 2車線→4車線）



### ▼交通混雑の緩和

当該道路の全線4車線整備により、釧路市街における交通混雑の緩和が期待されます。

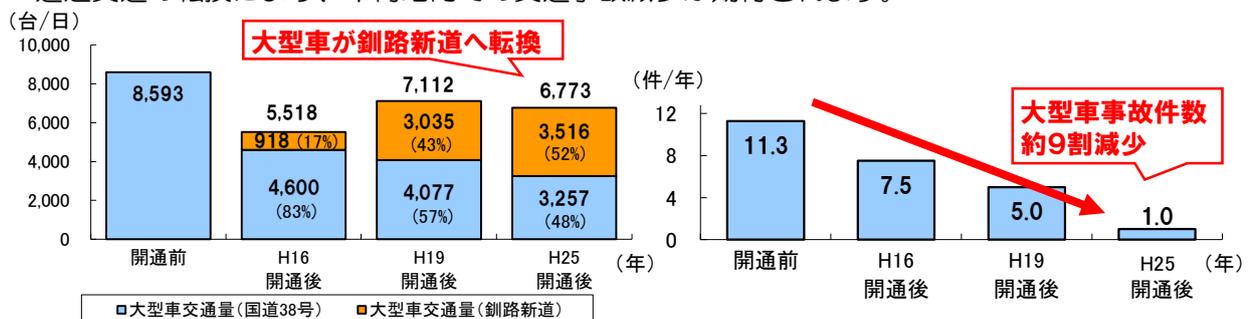


開通段階別の「釧路新道」の交通量の変化

釧路市内の交通混雑の緩和

### ▼道路交通の安全性向上

通過交通の転換により、市街地内での交通事故減少が期待されます。



大型車台数の変化

大型車事故件数の変化

令和6年度（新規）

**E61** 一般国道39号 女満別空港網走道路（女満別空港～網走呼人）

（直轄）

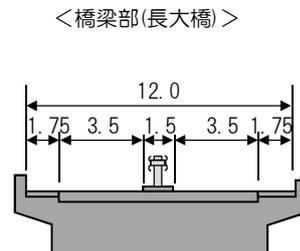
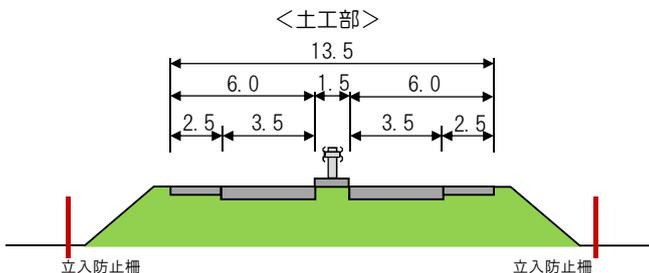
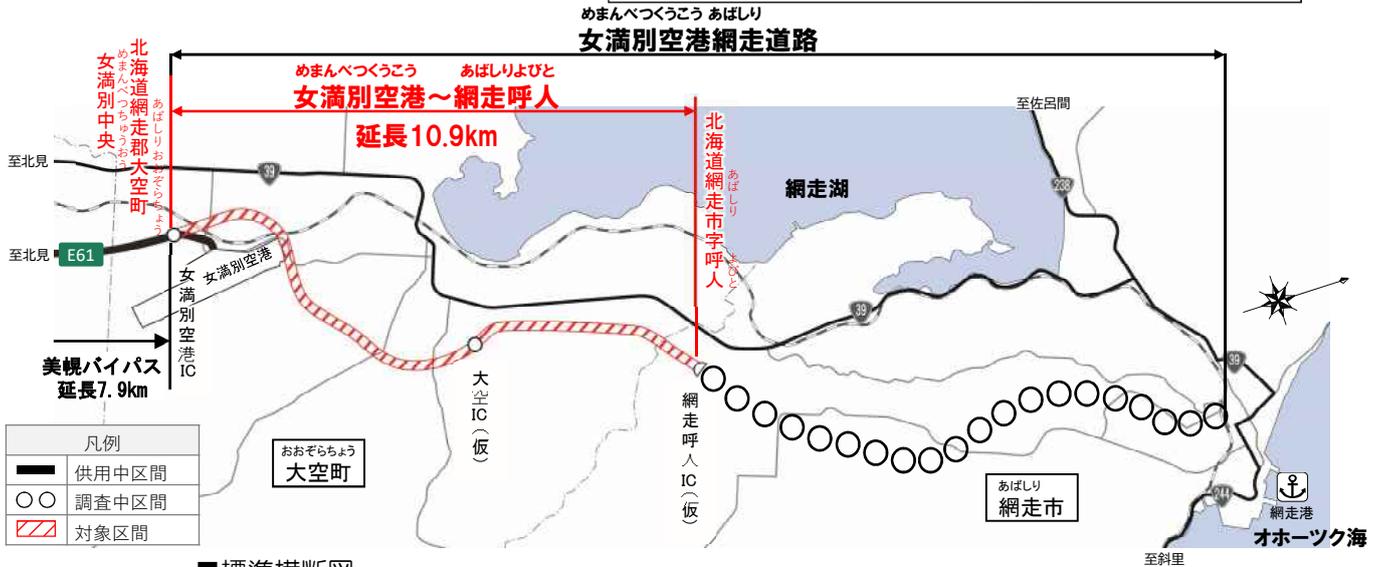
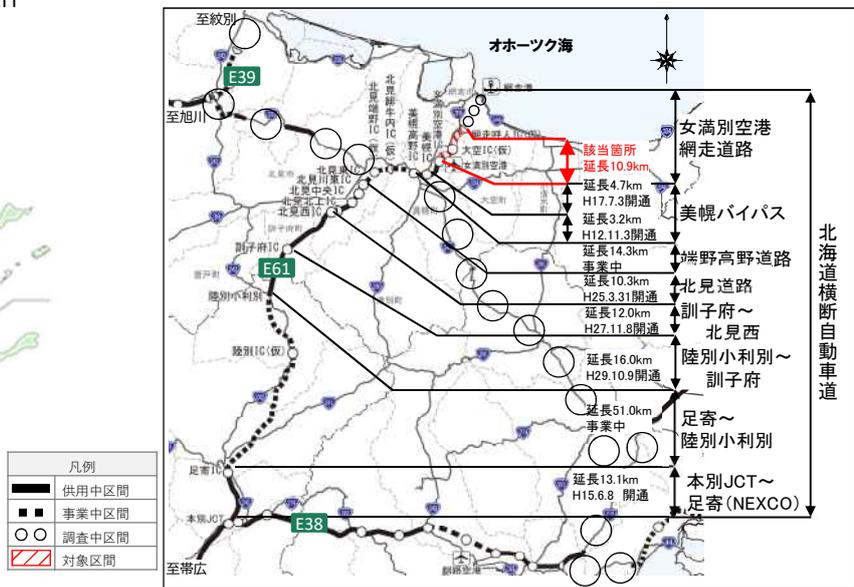
1. 概要

一般国道39号女満別空港網走道路（女満別空港～網走呼人）は、洪水浸水や地吹雪などの災害時においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築し、安全性や輸送効率の高い物流ネットワークを形成することによる地域産業の活性化、女満別空港から観光拠点への速達性向上による観光振興等を支援すること等を目的とした延長10.9kmの一般国道のバイパス事業です。

2. 計画内容

箇所名：北海道網走郡大空町女満別中央～北海道網走市字呼人  
 延長：L=10.9km

女満別空港網走道路  
 女満別空港～網走呼人



令和6年度（新規）

E5A

一般国道5号 蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安）

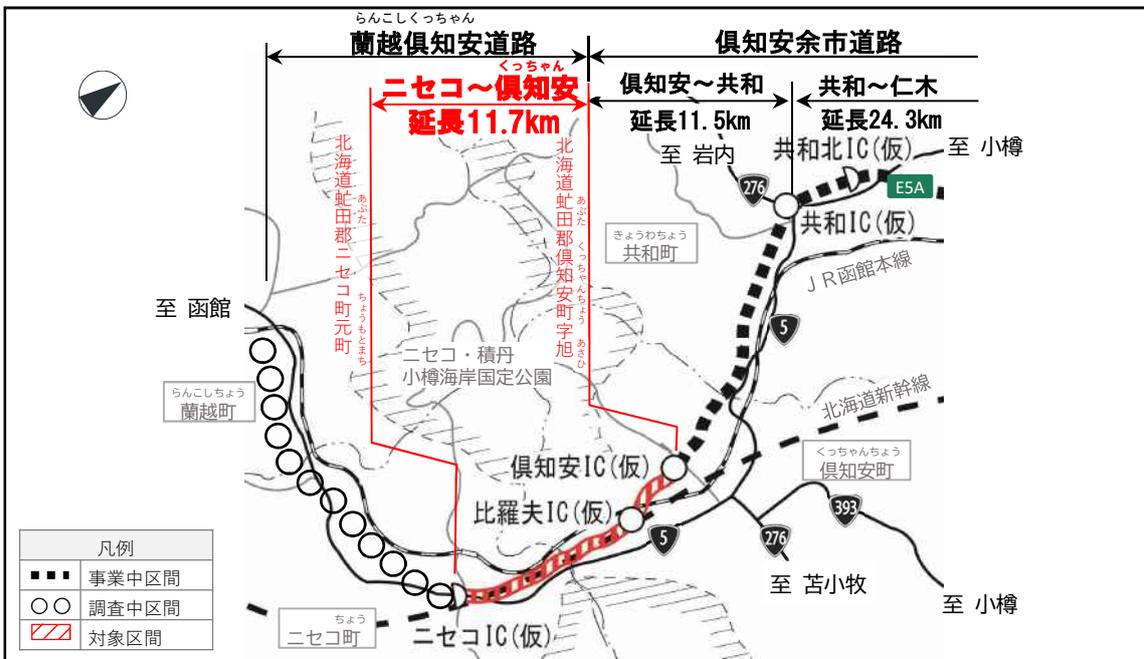
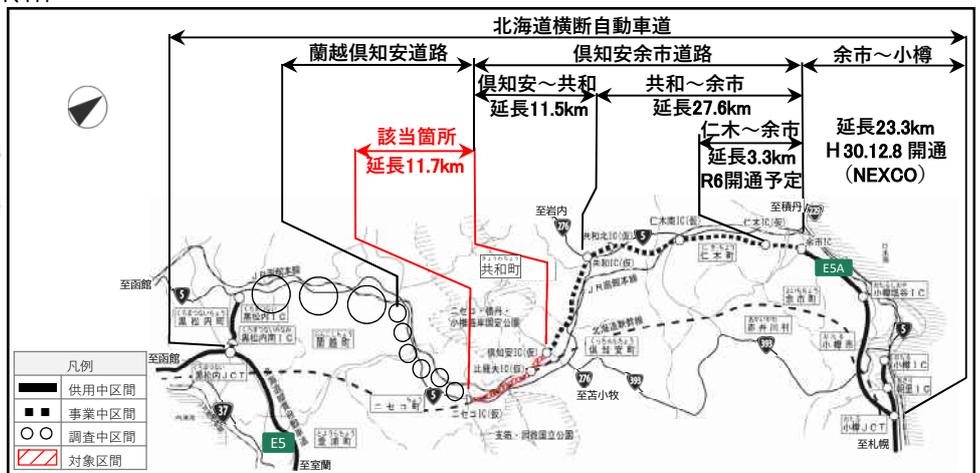
（直轄）

## 1. 概要

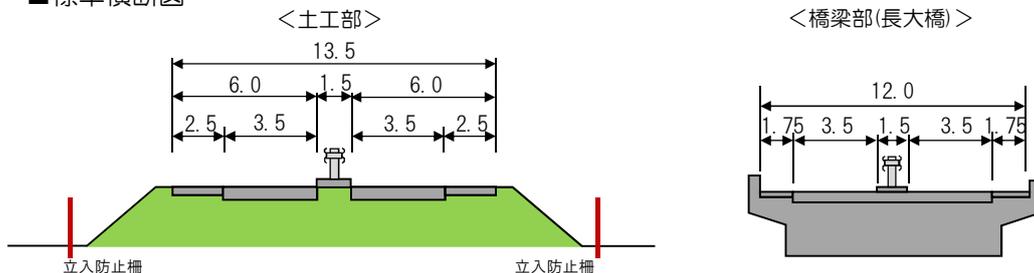
一般国道5号蘭越倶知安道路（ニセコ～倶知安）は、倶知安市街地等における交通事故低減による安全性の向上、拠点空港新千歳空港から国際的観光地ニセコへの速達性の向上により、観光振興による地域の活性化支援及び有珠山噴火等の災害時の代替路として寄与することを目的とした延長11.7kmの一般国道のバイパス事業です。

## 2. 計画内容

箇所名：北海道虻田郡ニセコ町元町～北海道虻田郡倶知安町字旭  
 延長：L=11.7km



■標準横断面



## 令和6年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。  
主な調査箇所は、下記の通りです。

### 【主な調査箇所】

#### 都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

北海道横断自動車道 めまんべつこうこう 女満別空港～網走(網走呼人～網走) あばしり あばしりよびと あばしり

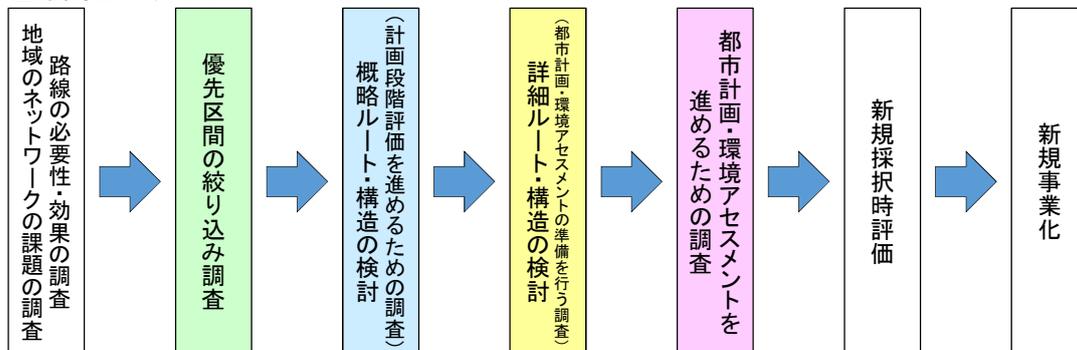
#### 概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

北海道横断自動車道 べっほ おほろ 別保～尾幌  
北海道縦貫自動車道 なかがわ てしお 中川～天塩  
旭川十勝道路 かみふらの なかふらの 上富良野～中富良野

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

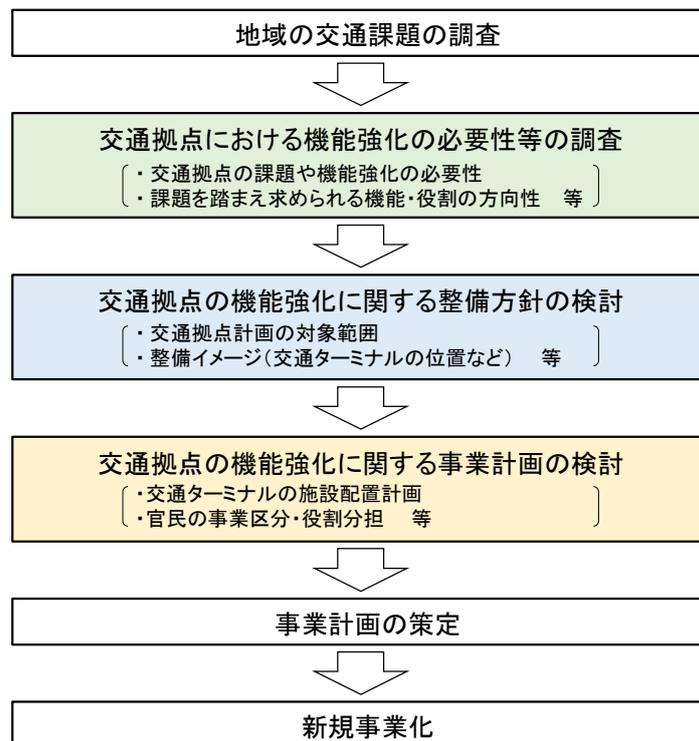
### <道路調査の流れ>



## 令和6年度の道路調査の見通しについて（交通拠点）

地域の交通課題を把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、道路ネットワークにおける拠点の機能強化の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

### <交通拠点の調査の流れ>

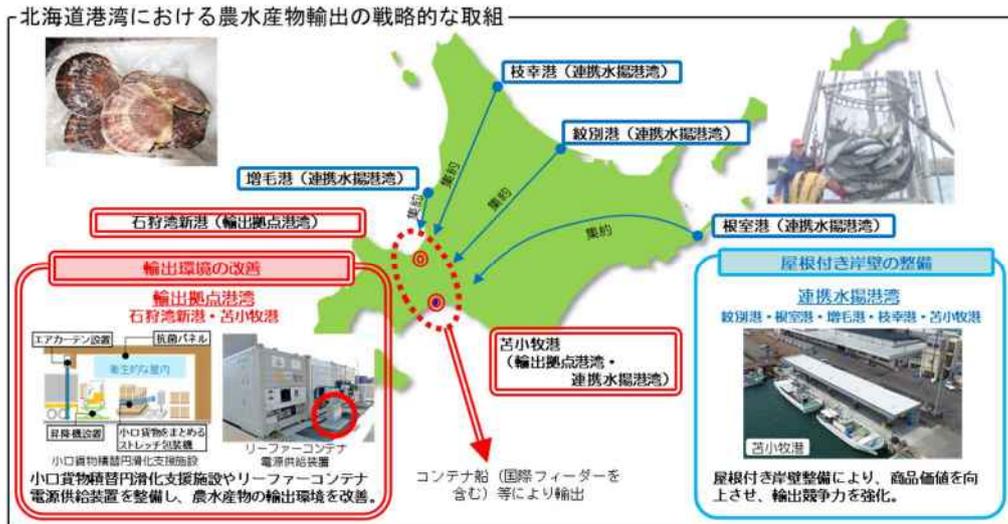


### 3. 港湾整備事業

#### 1 農林水産業・食関連産業の振興

##### (1) 農水産物輸出促進基盤の整備

新たな成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するため、農水産物の輸出に戦略的に取り組む港湾において、輸出促進に資する屋根付き岸壁の整備を推進します。



##### (2) 国内物流機能の強化

北海道産農水産物の移出等を支える国内物流の機能強化及び安定性確保を図るため、係留施設や外郭施設等の整備を推進します。

##### (3) 国際物流機能の強化

道内の基幹産業に必要となる原材料の輸入を支える国際物流の機能強化及び安定性確保を図るため、係留施設や外郭施設等の整備を推進します。

#### 【水深不足による喫水調整】

現状



#### 【貨物需要の増大】

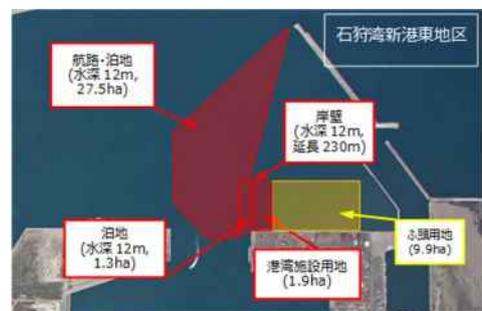
バイオマス発電燃料の輸入

バイオマス発電所 (2023年3月稼働)



パームヤシ殻 (PKS) 木質ペレット

#### 【整備イメージ】

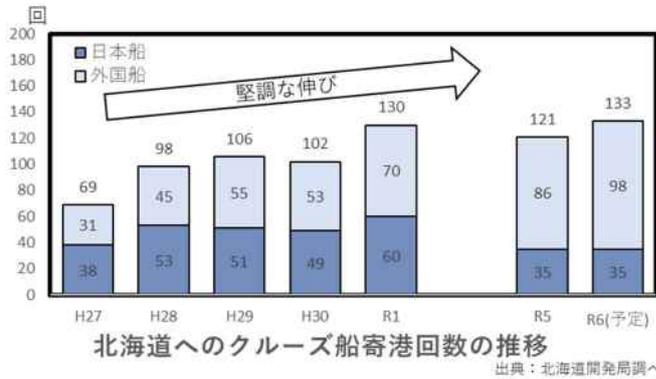


岸壁の整備、泊地の浚渫等の港湾施設整備を行うことにより、鉄スクラップ輸出及びバイオマス発電燃料輸送船の大型化に対応する

## 2 世界水準の観光地の形成

### クルーズ船の受入環境の整備

クルーズ船の大型化に対応するため、既存岸壁を活用した受入環境の整備を推進します。



既設岸壁を活用した受入環境整備（函館港）

## 3 北海道型地域構造の保持・形成に向けた定住・交流環境の維持増進

### 離島における交通機能の確保

島民の生活や地域経済を支えるフェリー航路の安定化を図るため、係留施設や外郭施設の整備を推進します。



荒天時の越波等による港内擾乱状況（香深港）

## 4 強靱で持続可能な国土の形成

### 社会経済を支える海上輸送ネットワークの強靱化

海上輸送ネットワークの強靱化を図るため、港湾における高潮・高波対策や老朽化等を推進します。



消波ブロック嵩上げによる越波抑制効果例



矢板が腐食した係留施設の老朽化対策例

令和6年度（継続）

## 苫小牧港東港区 浜厚真地区 複合一貫輸送ターミナル整備事業

（直轄）

### 1. 概要

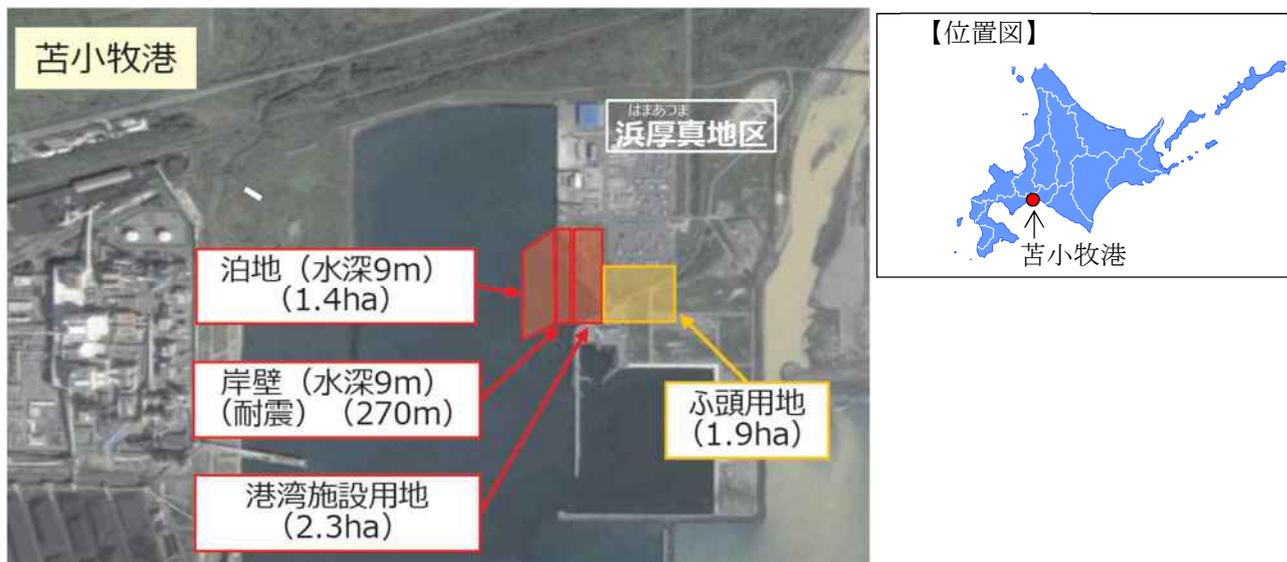
苫小牧港東港区浜厚真地区において、不足するバース整備を行うことにより、トラックドライバーの労働規制に応じた効率的なフェリーのダイヤ設定等を可能とするほか、災害にも強い国内輸送ネットワーク構築に対応するため、複合一貫輸送ターミナルの整備を推進します。

### 2. 計画内容

令和5年度整備施設：岸壁(水深9m)(耐震)

全体事業費：145億円（うち直轄130億円）

事業予定期間：令和4年度～令和9年度



### 【北海道における農水産業の振興及び農水産品の安定的な国内供給】

【バース不足による非効率な輸送例】



【バース整備による効率的な輸送例】



岸壁、港湾施設用地等の港湾施設整備を行うことにより、トラックドライバーの労働規制に応じた効率的なフェリーのダイヤ設定等を可能とすることで、北海道産の農水産品の効率的な移出が可能となり、北海道における農水産業の振興、我が国の農水産品の生産基盤の強化と安定的な国内供給の確保に対応する

令和6年度（継続）

## 農水産物輸出促進基盤の整備

（直轄）

### 1. 概要

新たな成長分野として見込まれる農水産物の輸出増加に対応するため、農水産物の輸出に戦略的に取り組む港湾において、輸出促進に資する屋根付き岸壁の整備を推進します。

### 2. 計画内容

#### 紋別港

令和6年度整備施設：物揚場(水深4m)(西)(改良)

事業予定期間：平成20年度～令和一桁後半（令和元年度暫定供用開始）

#### 根室港

事業予定期間：平成25年度～令和一桁後半（岸壁(水深5.5m)供用済み）

#### 枝幸港

令和6年度整備施設：物揚場(水深3.5m)(中央)(改良)

事業予定期間：平成29年度～令和一桁後半（令和4年度暫定供用開始）

※苫小牧港、増毛港は供用済み



紋別港 屋根付き岸壁（令和5年10月供用）

令和6年度（継続）

## 既存ストックを活用したクルーズ船の受入環境の整備 （予防保全事業）

（直轄）

### 1. 概要

クルーズ船の大型化に対応するため、室蘭港において、既存岸壁を活用した受入環境の整備を推進します。

### 2. 計画内容

室蘭港

令和6年度整備施設：岸壁(-11m) (改良)

事業予定期間：令和元年度 ～ 令和一桁後半



整備イメージ



室蘭港クルーズ船接岸状況（令和4年5月）  
（暫定供用）

## 4. 空港整備事業

### 1 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり

#### 国内外の旅行者の受入環境整備

新千歳空港では、除雪作業や航空機のトラブル等による滑走路の一時的な占有に起因する遅延や欠航が課題となっていることから、誘導路の複線化等を推進し、航空機の安定運航を図り、国内外旅行者の受入環境の整備に取り組めます。

[新千歳空港]



整備イメージ

### 2 生活空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

#### (1) 耐震対策

大規模地震災害時における緊急物資等の輸送拠点としての機能確保、航空ネットワーク及び背後圏の経済活動を維持するため、滑走路や地下構造物における耐震対策を推進します。

[新千歳空港]



地下構造物の耐震対策

#### (2) 浸水対策

近年の気候変化や長期的な気候変動を踏まえ、台風や豪雨に備えた浸水対策を推進します。

[函館空港]



浸水対策

## 空港の受入機能強化

（直轄）

### 1. 概要

新千歳空港では、冬期における航空機の欠航や遅延等が課題となっており、航空機や除雪車両の混雑を緩和し、駐機場への引き返しを少なくするため、誘導路複線化や滑走路端近傍のデアイシングエプロンの整備を行います。

### 2. 計画内容

箇所名：新千歳空港

整備内容：誘導路複線化等

事業予定期間：平成30年度～



整備イメージ

- ① 末端取付誘導路複線化（北側・南側）  
（除雪車両の待機解消による滑走路占有の回避等）
- ② 平行誘導路複線化  
（駐機場へ引き返す航空機による滑走路占有の回避等）

令和6年度（継続）

## 空港の防災・減災対策（浸水対策）

（直轄）

### 1. 概要

近年の気候変化や長期的な気候変動を踏まえ、台風や豪雨に備えた浸水対策を推進します。

### 2. 計画内容

箇所名：函館空港

整備内容：浸水対策

事業予定期間：令和2年度～



浸水対策(函館空港)

## 5. 農業農村整備事業

### 1 食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展

#### (1) 農地の大区画化・汎用化

農地の大区画化・汎用化、地下水位制御システムの導入等の農業生産基盤の整備とあわせて、担い手への農地集積・集約化や農業を進めます。

また、基盤整備を契機としたスマート農業の活用やコントラクターをはじめとする作業受託組織の活用を図ることによる農業生産の省力化・効率化・低コスト化や、高収益作物の生産拡大による農業の高付加価値化等を推進します。

●国営緊急農地再編整備事業「今金南・今金北地区」の例



農地の大区画化等の整備



スマート農業・農業の高付加価値化等を推進

#### (2) 畑地かんがい施設等の整備

少雨時であっても高品質で安定した農業生産を支え、農業の競争力強化が図られるよう、畑地かんがい施設の整備を推進します。

また、酪農地帯にあっては、家畜排せつ物とかんがい用水を混合することで、家畜排せつ物の効率的な農地還元を可能とする肥培かんがい施設の整備を推進します。

●国営かんがい排水事業「北見二期地区」の例



未整備区域において  
干ばつが発生



施設整備により、適期  
適切なかん水を実現



安定生産・品質が向上

●国営環境保全型かんがい排水事業「根室地区」の例



肥培施設の整備  
(配水調整池)



農地へのスラリー<sup>(※)</sup> 散布

※スラリー：家畜排せつ物にかんがい用水を混合した有機質肥料

### (3) 基幹的農業水利施設の保全・更新

基幹的な農業水利施設の計画的な更新・長寿命化・耐震化等を行い、施設のライフサイクルコストの低減と農業生産力の維持・確保を図ります。

#### ●国営かんがい排水事業「北海地区」の例



用水路の改修工事



更新整備された用水路

## 2 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

### 流域治水対策の推進

道内の各水系では、気候変動による水害リスクの増大に備え、流域全体のあらゆる関係者の協働により「流域治水」に取り組まれており、水系ごとに策定される「流域治水プロジェクト」には、農業用ダムの事前放流、田んぼダムによる水田貯留機能向上など、農地や農業水利施設の多面的機能を活かした取組も盛り込まれています。

農業農村整備事業においては、流域治水の推進に向けて、市街地・集落を含む農村地域の排水対策のための排水施設の整備、事前放流等に取り組むダムの整備、田んぼダムに取り組む地域における農地の整備を推進します。

#### ●流域治水対策の例



整備された排水路  
(お茶の水地区)



田んぼダムに取り組む地域における農地の整備  
(旭東東神楽地区)

## 1. 概要

水需要の変化、施設の経年的な劣化、エネルギー使用量が多い水利形態等に対応した用水再編と、流出量の増加による湛水及び過湿被害に対応した排水改良を行うことにより、農業用水の安定供給と維持管理の軽減及び農地の湛水被害の解消を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定を促進します。

## 2. 計画内容

関係市町村：江別市、石狩郡当別町

受益面積：1,863ha

主要工事：揚水機場（改修）1箇所、用水路（新設・改修）7.0km、  
排水機場（改修）2箇所、排水路（改修）8.4km

### 【地区の課題】

- 用水施設の経年劣化や取水障害、エネルギー使用量が多い水利形態により維持管理費用が増加。
- 排水施設の経年劣化や流出量の増加に伴い、排水能力が不足し、農地の湛水及び過湿被害が発生。



用水路の漏水状況



揚水機の堆積土砂撤去状況



湛水被害の発生 R4.8

### 【事業実施により期待される効果】

- 省エネルギー化に対応した用水施設の改修・統廃合により用水の安定供給と維持管理費用、消費電力の軽減。
- 農業用水の安定供給及び排水施設の改修による湛水等被害を解消しブロッコリー等の高収益作物の生産拡大。



## 1. 概要

農業用排水路の機能回復及び土壌侵食等の災害の未然防止を図り、農地の湛水被害及び過湿被害を解消し、農業生産性の維持及び農業経営の安定を図り、もって国土の保全を図ります。

## 2. 計画内容

関係市町村：川上郡弟子屈町

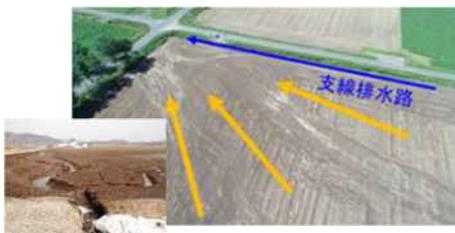
受益面積：384ha

主要工事：排水路（改修）5.5km

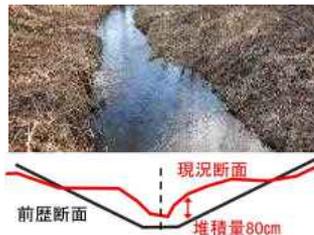


### 【地区の課題】

○侵食を受けやすい火山性土壌に起因した土壌侵食により、農業用排水路の法面が崩壊する等、排水能力が不足し、降雨時には農地の湛水被害及び過湿被害が発生。



農地からの土砂の流出（左は侵食）



土砂堆積による排水路の機能低下



湛水被害の発生

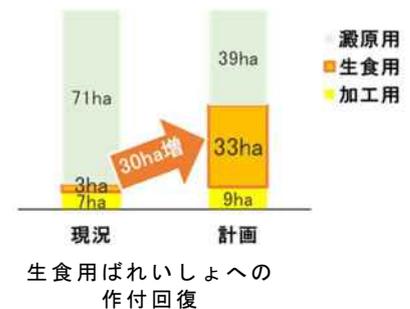
### 【事業実施により期待される効果】

○排水路の機能回復による湛水被害及び過湿被害の解消並びに維持管理費の軽減。

○排水改良により、高収益作物である生食用ばれいしょの生産を回復。



ばれいしょの植付作業



## 6. 水産基盤整備事業

北海道は、全国の漁業生産量・生産額の約2割を占めており、我が国における水産物の安定供給に大きく貢献しています。

このうち、第3種及び第4種漁港は、水産物の生産・流通拠点として広域的に利用されることなどから極めて重要な役割を担っています。

このことを踏まえ、令和6年度は、「水産業の成長産業化に向けた拠点機能強化対策」、「持続可能な漁業生産を確保するための漁港施設の強靱化・長寿命化対策」を重点的に推進します。



北海道第3種及び第4種漁港位置図

### 1 農林水産業・食関連産業の振興

#### 水産業の成長産業化に向けた拠点機能強化対策

安心・安全な水産物の安定供給とともに、北海道水産物の輸出促進を図り、水産業の成長産業化を実現していくため、漁港における衛生管理対策や漁船の大型化への対応等、流通機能の強化に資する施設整備を推進します。



屋根付き岸壁での陸揚げ



屋根下での水産物の一時保管



清浄海水による魚体の鮮度保持

### 2 強靱で持続可能な国土の形成

#### 持続可能な漁業生産を確保するための漁港施設の強靱化・長寿命化対策

北海道周辺では、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震等の発生が懸念されているほか、頻発化・激甚化する低気圧災害等に対応するため、防波堤・岸壁等の耐震・耐津波・耐浪化対策、漁港施設の長寿命化対策を推進します。



静穏度対策（防波堤等の嵩上げ前）



地震・津波対策（用地の嵩上げ）



老朽化対策（本体被覆）

うすじり  
臼尻地区 特定漁港漁場整備事業

（直轄）

### 1. 概要

臼尻漁港は、北海道渡島半島東部に位置し、大型定置網、スケトウダラ刺網等の沿岸漁業の流通拠点であることに加え、コンブ養殖漁業が安定した生産を支えています。また、イカ釣り外来船の基地港としての重要な役割を担っています。

当漁港では、長時間の野天での陸揚げ・荷さばき作業、一時保管を余儀なくされており、鮮度低下や異物混入が課題となっています。また、地震津波発生時における陸揚げ機能の確保、避難路の確保が急務となっています。

このため、衛生管理対策の強化を図るため、屋根付き岸壁を整備するほか、発災後における水産業の早期再開を可能とするため、主要な岸壁及び防波堤の耐震化・耐津波化と避難機能を併せ持つ臨港道路を整備し、水産物流機能の向上と漁港利用者の安全確保を図ります。

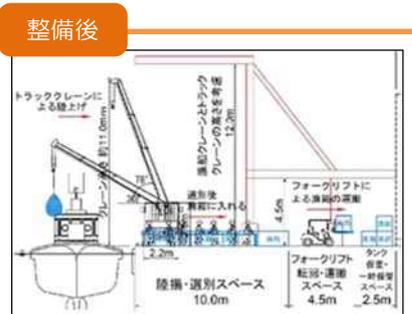
### 2. 計画内容

計画箇所：臼尻地区（函館市）

主要計画施設：北防波堤（改良）149m、-4.0m岸壁175m、臨港道路1,069m 等

全体事業費：約58億円

事業予定期間：令和3年度～令和12年度



屋根付き岸壁（イメージ）



避難階段付き臨港道路（イメージ）

## 7. 官庁営繕事業

### 1 防災拠点となる官庁施設の防災機能の強化等

#### (1) 地域と連携した防災拠点等となる官庁施設の整備の推進

防災拠点等となる官庁施設の整備を推進し、災害に強い地域づくりを支援するとともに、新たなまちづくり空間やにぎわいの創出等により、地域の活性化に積極的に貢献します。

#### (2) 官庁施設の耐震化の推進

人命の安全の確保を図るとともに、防災機能の強化と災害に強い地域づくりを支援するため、官庁施設の耐震化を推進します。

#### 地域と連携した防災拠点の整備



防災官署の集約化による  
関係機関との連携強化



地域の緑の繋がりに  
配慮した完成イメージ図

### 2 官庁施設の老朽化対策等

#### (1) 既存官庁施設の脱炭素化の推進

老朽化した空調設備の改修において、従来型に比べ高効率の空調設備を導入し、官庁施設の脱炭素化に向けた整備を実施します。

### 3 脱炭素社会の実現に向けた官庁施設の整備の推進

#### (1) 官庁施設における木材利用の推進

直轄の官庁営繕事業において木材を利用した官庁施設の整備を積極的に推進します。



内装等の木質化を図った施設の例  
(帯広第2地方合同庁舎)

#### (2) 官庁施設における ZEB 等の推進

官庁施設のライフサイクルを通じた環境負荷低減の推進と、政府実行計画※1に基づき各府省庁が行う温室効果ガス排出削減への技術的支援を行います。



ZEB Oriented を目標に建設中  
(札幌第4地方合同庁舎)

※1 政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画（R3.10.22閣議決定）

## (参考) アイヌ文化の振興

「アイヌ文化の復興等を促進するための民族共生象徴空間の整備及び管理運営に関する基本方針について」（平成 26 年 6 月 13 日閣議決定、平成 29 年 6 月 27 日一部変更）等に基づき、国立民族共生公園及び慰霊施設の整備を推進してきました。

アイヌ文化の復興・創造等の拠点として造られた「民族共生象徴空間(愛称ウポポイ※)」では、国内外から多くの人々が訪れ、アイヌ文化の素晴らしさを体験し、民族共生の理念に共感してもらえるよう魅力的なプログラムやイベント等の充実、発信に取り組んでいます。

北海道開発局としても、関係機関と協力し、誘客促進に向けたPR活動等を進めて参ります。

※「ウポポイ」はアイヌ語で「(おおぜいで) 歌うこと」を意味します。

### ウポポイ全景



### プログラムの一例



- 1 伝統芸能上演
- 2 アイヌ語学習プログラム
- 3 刺繍体験
- 4 ポロトコタンの夜
- 5 イルミネーション
- 6 衣裳体験

### 令和5年度の主なイベント



・4/29～5/7ゴールデンウィークイベント  
ゴールデンウィークに特別プログラムなどを実施



・7/15～17ウポポイ祭  
3周年を迎えアイヌの踊りと食がテーマのイベントを開催



・11/3ウポポイ無料開放DAY  
1日の来場者数が過去最高の6,692人を記録



・2/3～11冬のイベント(展示は2/4～11)  
トレッポンの小雪像やトナカイのゾリが会場映画『ゴールデンカムイ』展(衣装等展示)も同時開催



**(参考) 令和6年度 道路の主な開通予定**

**【直 轄】**

路線名	事業名	開 通 予 定	
		区 間	延 長 (km)
北海道横断自動車道	ほんべつ くしろ 本別～釧路	E38 道東自動車道 あかん くしろにし 阿寒IC～釧路西IC	17.0
北海道横断自動車道	くつちゃん よいち きょうわ よいち 倶知安余市道路(共和～余市)	E5A しりべし 後志自動車道 (仮称)にき よいち 仁木IC～余市IC	3.3
道央圏連絡道路	なかじゆりん 中樹林道路	そらち なんぼろちよみなみ せんにし えべつし えべつぶと 空知郡南幌町南15線西～江別市江別太	7.3
国道38号	くしろしんどう 釧路新道	くしろ しおたのしけ くしろ しきたぞの 釧路市大楽毛～釧路市北園	4.1
国道238号	もんべつぼうせつ 紋別防雪	もんべつ ゆうべつちよう かわにし もんべつし ぬま うえ 紋別郡湧別町字川西～紋別市沼の上 もんべつしこむかい もんべつしこむかい 紋別市小向～紋別市小向	14.1
国道238号	はまさるぼうさい 浜猿防災	そうや さるふつむら はまおにしべつ そうや さるふつむら ちらいべつ 宗谷郡猿払村浜鬼志別～宗谷郡猿払村知来別	4.3

**【補 助】**

事業主体	事業実施箇所	路線名	開通予定 延長 (km)
ほっかいどう 北海道	くしろ 釧路市	やまはなつるおか (一)山花鶴丘線	0.9

**【防災・安全交付金】**

事業主体	事業実施箇所	事業名	事業 延長 (km)	左記事業が含まれる社会資本総合整備計画
				計画名
ほっかいどう 北海道	そうべつちよう だて 杜警町、伊達市	(一) たきのまちだて 滝之町伊達線	4.2	防災・安全を支える道路ネットワーク強化